第三千七百四十號 (一) THE KEIJO NIPPO 大正七年四月六日 年中無休刊

京城日報

四月五日夕刊
(朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 ▲一部金二錢九厘 ▲一ヶ月金五十五錢 ▲三ヶ月金一圓六十錢 ▲半ヶ年金三圓 ▲一ヶ年金六圓
廣告料金 ▲七字詰一行一圓 ▲五號十五字詰一行一圓六十錢
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
電話番號 編輯用三四五番 營業用三二六番
振替貯金口座京城二〇〇〇番

◎米國船舶收得數

日米船鐵交換協定の結果は米國は日本より一隻五千噸の船舶約三十隻を得る事となれり(紐育電報)

◎戰時利得稅實收額

戰時利得稅の實收額は二千五百萬圓内外に達すべく豫想さると市來次官は語れり(東京電報)

◎手形交換所大會

全國手形交換所大會は四日午後三時より聯合大會を東京銀行集會所に開き同六時より寺內首相、勝田藏相、市來大藏次官、三島、水町日銀正副總裁、澁澤男、豐川良平、志村、柳谷勸銀正副總裁等廿三名を招待し聯合懇親會を開きたるが池田委員長の挨拶に次で寺內首相、勝田藏相、三島日銀總裁の演說ありたり(東京特電)

◎唐紹儀氏動靜

入京以來寺內首相、本野外相、山縣公等を歷訪せる唐紹儀氏は引續き外交調査會員を歷訪す可く伊東巳代治子とは已に會見を遂げたり(東京特電)

◎原油價格維持

本月の攝津原油は一石十五圓の現狀を維持せり(大阪特電)

◎白井代議士視察

白井代議士は西伯利亞其他を視察すべく五日午前八時四十分東京驛發列車にて出發せり(東京電報)

◎永沼中將動靜

二日來奉せる永沼陸軍中將は同日奉天小學校に於て講演會開會、來聽者四百名盛會を極む尚中將は三日張督軍を訪問し其招宴に臨み四日松本奉天守備隊長同伴にて鐵嶺に向ひたり(奉天特電)

●南北鬩爭の眞相
漢民族の爭ひ＝統一は鐵道の力に依る外無し
某支那通談

支那南北の鬩爭は、勿論支那の問題であるが、同時に東洋の問題であり、やがて又日本の問題であると謂へる。然かも他國の內政に關する事柄であるが爲めに、日本にとつては自己の頭上に降りかゝる火の粉を、拂ふにも拂へない樣な辛らい心持ちで眺めて居る。それで善くも惡くも皆々の

▼批評も出て 支那自らをして治めしむるが可い、否や日本から手を貸してやるが宜しいと、日本の對支意見も區々である。最近日本政府が痺れをきらして南北の調停を試みる事に成り、林公使が其の使命を齎らして北京に歸任したとも傳へられたが、事實か知ら、果して事實とすれば誠に結構なことであると吾輩は考へる。何となれば支那は如何なる犧牲を拂ふとも統一されねばならない。一旦統一されて中央政府の威令が隅から隅へ行渡りさへすれば、支那の紛議に歸するのは分り切つたことだからである

▼之を證する には政爭の眞相を明かにせねばならない。乃で南方の實勢力を調べて見る。現在南方の兵士は雲南、貴州、廣東、廣西等各省の者であるが、其內雲南の土民は苗族であつて漢民族に對しては代々好感を懷いて居ない故に雲貴軍といふも、苗族は淸朝覆滅民族のみである。同地方の漢民族は引續き起れる地方の混亂に倦れて、今は反つて淸朝の昔を戀しがつて居る位だ。單り苗族のみならず、漢民族と雖も地方の良民は政爭而して擾亂と云ふ革命以來の狀態に困じ果てて居る。即ち支那南北の鬩爭なるものは

▼漢民族間に 起つたもので、同族中の武人と書生と傭兵とが騷いで居るに過ぎないと云ふことに成る。處で此に注意すべきは其騷いで居る舞臺が、北京から汽車の便に依りて兵を輸送し得る鐵道の附近であるの一事だ。之れは湖南、四川、廣西の一部等は甘輿地から出懸けて來て、惡戲を試み、勢不利なれば遁竄するに都合が可いからである、斯る狀態を回し推すに、鐵道が廣西、雲南、貴州、陝西等の各地方に敷設されば、終に中央に背いて事を起し得べき舞臺が無くなる譯である、これで甚だ獨斷に過ぎる樣だが

▼支那の統一 は鐵道に頼る外は無いと思ふ、隨て多少の無理は有つても兎も角も一應支那を統一して、權威を起し、出來得る限り交通機關を整備するのが、今日急務であると云ふ結論に到達するのである。若夫れ南北思想の相違す如きは、前にも述べた通り同民族のことでもあり、爾來習慣の差が有るのでもない。又世界孰れの國にも地方に依りて思想を異にするの例は有り勝ちだが

▼國家の存立 を危殆ならしむる程の紛紜を釀すべきものではない。細かに說けば際限は無いが、吾輩の調停贊成は大體右樣の理由に基くのである。

●獨軍攻勢稍や弛緩

佛國に於ける獨軍前進の勢ひは稍鈍りたるが如し即ち三十日モンヂヂエルの西南に亘る若干地點を占領したる以後殆んど此方面に於ては進出を見ず是より先佛軍は多少の豫備軍を發遣してモンヂヂエル東南に於て敵の陣地を猛擊し或は逆襲し奪回せられ戰況激烈を極め爲に獨軍の進出に大なる障礙を與へたるものゝ如し

▲二期戰準備乎 然れども獨軍進出の稍や緩慢となれるは是等逆襲を受けたるに因らんも亦た第一期戰闘終りて是より第二期戰に移らんとする所以にも在らんかと思惟せらる元來攻勢力の猛烈を以て聞えたる獨軍は今回の戰闘に於て更により以上の肉彈戰を試み以て聯合軍の意表に出で流石の英軍をして作戰上の錯誤を來さしめたるに近きも而も一擧戰線の切斷に成功するを得ざりしは聊か彼の失敗なりと見る可し

▲運命近く決せむ 斯くして獨軍は今や一擧に切斷を爲し得ざる狀態となりたれば所謂二の矢を發せんが爲め茲に一と息を入れたるものと見るを以て至當とせんか今や獨軍は戰線と軍隊とを整理して第二期戰に入らんとす之に對して佛軍も數日來東方より豫備隊を急送して獨逸の側面突破を試みんとしつゝあれば茲數日中に再び大激戰行はれ彼我最後の運命は決せらるべし(三日＝東京)

◆段內閣復活と問題の人◆

梁士詒氏は段內閣の復活に際し財政總長として懇請されたるも氏は辭し裏面に於て段內閣を擁護することゝなれり司法總長朱深氏(字名は博淵)は直隸省の人にして東京法科の出身、北京政府の刑部の閣員として推進を以て任命されたるが新閣員としては氏を以て唯一人とす。張志潭氏(字名は□□、□□縣の人)は前內務次長にして前に段內閣の秘書長及び參戰事務處總務處長として段氏の信任最も厚く今次國務院秘書長に任命されたるも辭して就任せず。而も一般よりは其の將來進退に就て常に注目されつゝあり(寫眞は右より梁士詒氏、朱深氏、張志潭氏)

◎鮮人官吏恩給法發布

既報朝鮮人官吏の恩給、退隱料及び遺族扶助料等に關する法律案は原案の通り帝國議會を通過したるを以て愈去二日の官報を以て發布(法律第卅號)即日施行されたり

◎當座預金利息計算單位引上と地方
某銀行家談

京城釜山仁川の三地は四月一日より各銀行の決議にて當座預金利息の計算單位從來一百圓なりしを

▲三百圓に引上げたるが 右の決議は地方各銀行にも及ぶものなるや又その影響等に付某銀行家の談を聞くに朝鮮の各銀行預金は朝鮮銀行を除けば何れも未だ甚だ小額にして一行にして五百萬圓以上を抱有せる者はなし尤も併合後の財界と今日とを比較すれば預金貸出共約二三倍の數字を示しされど尙ほ當座利息最低單位を三百圓に引上ぐるは時期尙早ならずやと思はる、東京大阪の如く財界の膨脹非常なるも然も當座は

▲預金利息單位 は五百圓なるより見れば京仁釜は引上げても二百圓位に留むるを適當なりとせしならん尤も此事たる銀行としては行員の手を省く事多く更に若干無利息の資金を運用し得る譯に付甚だ有利なれど未だ幼稚と稱すべき京釜仁の預金者は各銀行の決議なれば止むを得ずとの觀念は抱くべきも苦痛たるに相違なからんと京釜仁以外に此の傾向の推移すべきやとの疑問に對しては恐らく以上三地に留まるべしと云ふを當れりとせん何となれば京釜仁三地を除けば他の平壤と云ひ大邱と云ひ南浦群山と云ひ其の

▲經濟力 は格段の落目を見ればなり萬一平壤大邱群山木浦等に於て三百圓單位說をとるに至らば其の結果預金者の苦情頻出し到底銀行業者は神經衰弱に陷るの外なかるべしされど若し假りに京釜仁三地外に及ぼすとすれば取引の稍大口なるは南浦並に群山なるべきも然かも到底京釜仁三地と同額とする能はざるや勿論なり更に前記諸要地並に元山木浦等を除ける地方の銀行にては最高一口三百圓以上と云ふは絕無に非らざるも僅有に付到底かゝる制限を附し難きや勿論にて若し利息最低單位を

▲百圓以上 に定むる如き事あらばそは當座預金全部無利子なりと云ふに外ならざるに至らん更に京釜仁三地が最低單位を三百圓に決定せしため金融界に何等か影響あるべきかと云ふにそは問題とならず當座預金預入者中銀行を去つて朝鮮貯金に趨く者なきやの問題も予の意見を率直に云へば多分若干は之れを出すべきもそは極めて少額に過ぎざるべしと信ず

◎定例長官會議

五日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き長谷川總督を首め各部局長官參集諸般の政務に就き協議を遂げたり

◎免官者就職狀態
土地調査當局者の談

土地調査局に於ける各事業も豫定の如く進捗し大正七年度を以て大體に於て終了の筈に付同局にては一昨年來十數回に亙り所屬高等官以下の免官轉任を發表し目下の所本官は六百餘名を算するに過ぎざるが免官者の就職狀態に付同局當局者は曰く土地調査事業の終末は時恰も歐洲戰亂に基づく財界の好況時機なるを以て免官者の就職狀態は頗る良好なりしも朝鮮人官吏は其の數著しく多きを以て其の就職は困難の感あれど內地人側は朝鮮內に於ける各官廳主として地方並に鮮銀東拓を主とする銀行會社に採用を受くる者多く續いて關東州の土地調査臺灣北海道の林野調査及び內地各府縣の順にて餘程成績の劣惡なりしものは兎に角其他は土地調査時代の待遇と同等若くはより以上の優待條件にて採用されつゝあり

◎移民來著狀況

第八回の東拓移民は二月末日を以て移民締切り期となり居れるが最近までに來著並に朝鮮內居住者中の移民承認者にして其の割當地に移住せしものゝ數は約四百にして尙ほ承認數に及ばざるも四月に入りても若干數の渡來はある見込なれど結局五百內外の移住者を出すべきかと

◎釜山商議役員

釜山商業會議所評議會は四日午後一時より同所會議室に於て開會最初評議員の席順を抽籤にて定め夫れより役員の選擧を行ひたるが其の結果會頭には大池忠助氏副會頭には武久重吉、李圭直の兩氏常任委員には提良三、香椎源太郎、豐原德治郎、福島源三郎、水野巖、迫間房太郎の六氏當選右終つて新評議員の懇親會を鳴戶樓に開催せり(釜山)

◎私立東洋協會專門學校徵兵猶豫

京城大和町一丁目私立東洋協會京城專門學校入學者に對し今回其筋より徵兵猶豫の特典を認可さるゝことゝなり五日文部省より其旨告示さるゝ筈なりと

◎道參事任命
京畿道參事

京畿道參事は從來一名缺員中なりしが四月一日附を以て子爵宋秉畯氏任命さる

◎青島航路逆航
朝鮮郵船

朝鮮郵船會社の青島線は從來仁川、芝罘、大連、青島の順を以て航行せるが目下向暖の時季とて山東地方より大連及び朝鮮浦鹽等に渡航すべき出稼苦力漸次增加の傾向を示し現在既に八千人の苦力乘客滯り居れるを以て同社汽船江原丸は本月八日より其船繰を變更し仁川、青島、芝罘、大連の順を以て寄港すべく因に芝罘は過般ペスト流行の爲め一時寄港中止せしが今や何等危險の虞れなきを以て寄港すべしと

◎赤社汽車割引

來る五月二、三、四の三日間東京に於て開會さるべき日本赤十字社通常社員總會に鮮滿各地よりの參列者に對して滿鐵會社にては一定の證票引換に依り四月二十五日より六月二十六日迄片道普通賃金の二割引乘車券を發賣すべしと

◎軍人會分會總會

在鄉軍人會京城分會にては七日午後一時三十分より獎忠壇に於て定期總會並に大會を開催の筈なるが當日の次第左の如し
▲分會長開會の辭▲勅諭奉讀▲會務報告▲支部長訓示▲來賓訓話▲分會長謝辭▲評議員改選▲擊劍相撲徒步競走▲宴會▲解散
因みに當日雨天の際は次の日曜日に順延すべしと

◎ペリー博士入京

既報ペリー博士夫妻等一行は四日朝釜山著同夜一泊五日朝同地出發午後九時半南大門驛著入京すべく一行はペリー博士夫妻及びベットレ博士、ベル氏の四名なり

◎釜屋武官內地行

總督府武官釜屋海軍少將は四日夜南大門發列車にて佐世保へ出張せり

◎鮮鐵總裁消息

東上中の鮮鐵總裁美濃部俊吉氏は四五日中に出發歸鮮の豫定なりしも其後歸京の消息なき由にて多分臨時總會の開會を十七日に控へ居るを以て各種の關係上それ以前の歸鮮は困難なるべきかと

◎大田理事歸連期

大田鮮銀理事は五日歸連するやう既報せしが都合上六日午後九時四十分南大門驛發列車にて出發する事に變更したり

◎川上東拓理事消息

東拓理事川上常郎氏は最近東京にて病み約一週間入院治療し目下のところ健康に復したるが其の歸任期は不明なるも多分十日頃までには東京を出發すべしと

◎聯絡會委員出發

日支聯絡運輸會議出席の途次入京中の京漢鐵道運輸課長王潤貞氏一行七名は五日朝南大門出發東京に直行す

◎龍山中學校長挨拶

新任龍山中學校長赤八氏は五日午前十時總督府に出頭各關係部局を歷訪し挨拶を爲したり

◎釜山運動場竣成期

過般來より著手中なる釜山大運動場は略大體の工事を終りたるも一部切取りと海岸側垣積みとを剩し居れるが漸く本月中旬迄には完成すべく而して之れが名稱は大正運動場と命名すべく竣成の上は盛んなる運動場開きを爲すべしと(釜山)

◎「中外」四月號發賣禁止

東京中外新論社にて發行せる『中外』四月號は安寧秩序紊亂の虞あるを以て其筋より發賣を禁止されたり

木浦二三

▲三月中木浦驛成績 三月中の木浦驛成績は收入合計一萬二千十八圓五錢內重なるものは乘車賃一萬七百十四圓廿三錢手荷物百九十三圓小荷物五百四十圓入場料五十六圓外に關稅、雜收入貨物收入合計一萬三百二十三圓八十六錢內重なるものは貨物賃五千二百九十三圓貨切四千十四圓陸揚著手數料立替、雜等にて當月は木浦驛開始以來の好成績なりと
▲電報成績 三月木浦郵便局に於ける電報通信數は六千四百二十通著信六千八百七十二通之を前年同月に比すれば發信に於て千五百十六通著信千六百二十八通共に增加を示せり
▲扇海丸歸港 數月前より鎮海要港部に於て大修繕中なりし木浦警備船扇海丸は去る二日檢査を了へ歸港せり

人事消息

▲堀池富作氏(大邱醫師會長) 四日夜入京不知火へ
▲野口次郎三郎氏(總督府技師) 全北畜產技術員打合會に臨席の爲め全州に出張を命ぜらる
▲今野清氏(同) 國有林野施業案調査指導の爲め京畿道楊州外一郡に出張を命ぜらる
▲田中三雄氏(全北道事務官) 入京中の處五日朝退京
▲赤米哲夫氏(咸南道事務官) 入京中の處五日全北道へ出張
▲佐藤虎次郎氏 五日朝東京へ
▲水谷平吉氏(京城鐵道醫院長) 四日夜入京浦尾へ

東京より
世界大戰の關ヶ原(下)
在京一記者

●勝敗の運命繫て此の一擧に在り●

○西部大戰の勝敗如何は、今日に於て遽に推斷すべからずと雖も『タイムス』の云へるが如く、聯合國の運命が此の戰闘の結果如何に繫るのみならず、獨逸の運命も亦其の結果如何に關するものと謂はざる可からず。其の影響の重且つ大なる、固より言を俟たざる也。

○萬一、英佛の聯合軍にして獨軍の連續的攻擊を支持する能はず、獨軍をして英佛兩軍の聯絡を兩斷し、中央突破の目的を遂げしむ乎、聯合軍の運命は茲に窮し、佛國は千八百七十年の屈辱を繰返し、英國は大陸を棄て孤島に蟄居せざるを得ざるべく、聯合國の主張したる民主々義、民族主義は、侵略主義の獨逸の軍國主義に壓倒せらるゝに至るべきは、必至の勢ひなりと謂はざる可からず。且つ、一旦最後の勝利にして、獨逸が其の餘威を以て東邦に進出するに至らば、吾人の豫期せざる可からざる所にして、歐洲の平和も東邦の平和も得て期す可からざる也。

○之に反し、獨逸が高價なる犧牲を拂ひ、大攻勢を執るに拘らず、其の目的を遂する能はず、其の攻勢運動にして失敗に歸せむ乎、獨軍の精銳は當に此の一擧に竭くるのみならず、國內に勃興しつゝある講和熱、徐々昂上し、東方に於て占め得たる收穫を犧牲に供するも、結局講和を聯合國に請はざるを得ざるに至るべし。是れ實に民主々義、民族主義の軍國主義を壓倒したるものとして、吾人が聯合國に期待せざるを得ざる所。獨逸の運命も亦此の一擧に在ることを知らざる可からず。

○若し夫れ英佛軍にして、聯合國民の確信するが如く不撓不屈の精神を發揮して獨軍の攻擊を支持し最後の防禦陣地を堅守して之を失はず。獨墺軍も亦或る程度迄の成功を收むるも、中央突破の目的を達する能はざる場合に於ては、再び最大持久戰を繰返すの外なきに至るべく、勝敗の機未だ容易に判す可からざる也。

○今や獨軍の攻勢運動は連續的に行はれ、英軍は佛軍の聲援を得つゝあるに拘らず、一戰每に徐々不利に陷り『舊戰線アラス、アルベール、相踵で陷り、佛軍はノアイオンよりオアーズ河左岸に退却しつゝあるが如しと雖も吾人は恐くは獨軍をして、英佛兩軍の聯絡を兩斷し、中央突破の目的を達せしむるが如き虞なきを信ぜんと欲す。

○然れども、獨逸がアウフエンベルヒ將軍の云へるが如く『西部戰線に於ける獨軍の攻勢は、今後吾人の目的の達せらるゝ迄、長期間に亙りて計畫せられたる連鎖的大攻勢の最初の一環に過ぎざるもの』とせば、今後戰局の發展如何に由りては、如何なる大變化を生ずるやも、未だ測る可からず。世界の耳目、擧て此の西部大戰の勝敗如何に集中し、聯合國國民が深甚なる注意を拂ひつゝあるもの、偶然ならずと謂ふべし。嗚呼是れ我帝國が一大決心を要せざる可からざる時機にあらずして何ぞや。

◎會員募集◎ 新學期開始 四月八日より毎週月火木金午後七時半より 旭町二丁目 電話二五六 實用英語夜學會

法人登記公告 地方金融組合 ... 大正七年參月貳拾參日登記 京城地方法院平昌出張所

汽機 實馬力六十馬力 壹臺 石油發動機 八馬力 壹臺 ポンプ セントル、ヒユグル 壹臺 揭鑛機械 附屬品完備 吸入瓦斯發動機 中古上等 右割安賣却來談願上候 京城南大門通五丁目 器械材料商 中村幸商店 電話二二五

東都ノ粹ヲ集メタル 時計及貴金屬製品 御用命ハ弊店へ 京城本町一丁目 電話二二〇番 振替京城一〇六一 平井時計舖 勸業堂

第六十八回 割增金附 貳千圓 百圓 勸業債券 月賦 一圓 十圓 月くじ 割增債券 勸業債券社 福岡市博多下呉服町 福岡支店 振替福岡九五五番

時間表 (四月一日現行) [illegible]

何時貴國軍が我等を救ひ呉るゝや

◇昨日の貴族は今日は乞食なり◇
―オデッサ駐在英國軍醫の談

オデッサより引揚げ來れる駐在英國軍醫ジョンベーカ氏外四名從者三名の英國人一行は午後七、三十分發の急行にて長春へ發、朝鮮を經て浦鹽經由露國の途に就けるが旅館に訪ひし記者に對し領事は何事も語るの自由を持たずとて語るを避けたるも一行中の赤十字より派遣のトムソンと云ふ軍醫は語りて曰く

▽『一行がオデッサを發したるは二月廿六日なるが小露西亞が獨立する形勢なりしより其形勢を窺ひたりしに今や全く獨逸と通じ宛然獨逸の屬國の如き觀あるを見たりオデッサ、小露西亞、キエフ等は何れも獨墺捕虜が過激派より軍器軍服を密かに供給せられ其勢力は全露西亞に充滿せり私は現にキエフに於て

◇正裝せる軍服の獨逸の將校六名を確かに認めたり、オデッサ、キエフの地方の露國兵士や勞働者等は極端なる放縱、暴行、掠奪等を恣にし第一に貴族階級の資產を強奪なし其家を燒き次いで一般市民より漸く我等の如き外人に迄及ぼされ金品よりピストルに至る迄彼等の強奪に遇ひたるを以てレニン政府に嚴談に及びたるも途に要領を得ざりしかくて斯の如き狀態は益も激烈となり今は自國政府以外の他の何國の旅券なりとも

▽反古同樣也と廣言するに至れり、オデッサ、キエフの如き、此頃は白晝にても門戶を閉ざし鍵をかけて出入口を嚴重に警戒せざる可らざる有樣となれり、一時英國軍艦がコンスタンチノープル或は黑海方面に來ると謂ふ噂の立ちたる時自分の處に露國の一貴族は來り、何時我等を貴國軍が救ひ呉るゝや、我等は

◇昨日の貴族今日は乞食の有樣なりと、淚を流し居たりき、僕の滯在中小露西亞の兵と過激派の兵とが衝突せる時の如き自宅の前にて戰鬪せるが彼等は多く勞働者なるを以て鐵砲の整方も知らず矢鱈に發する銃彈は四方に散亂し我等の四圍にも三十四回も來せり過激派は市街の家屋に發砲するの亂暴を働き居たり

▽獨探け初めセルビヤ

昨今の小露西亞

▽には獨逸の諸政　▽略奪の如く侵入

其他の外人の服裝を爲して活動し居たりしが今はこれを密かにする必要無く總べては大仕懸に而かも公然と行ひ獨逸の諸政略は今や潮の如く侵入し來りつゝありオデッサ、キエフの如きは甚敷食糧に缺乏せるに非ず二十哩も行けば頗る豐富なり同地を引揚げ露都に至らんとせるも危險なりとて許されず莫斯科を經て黑龍江鐵道に依り浦鹽に出んとせしも、

◇浦鹽又騷擾の態あれば哈爾賓を經て來れり莫斯科は至極平穩なるがマッチ箱大の麵麭が三留と謂ふ値なるより南より來れる列車の麵麭を得んと集ひ來る有樣なり、莫斯科より露都に電話にて話せるに露都も今は靜なるも食糧に關しては甚だ困り居たり、露都は自ら

▽國民同士が鬪うて自ら其運命を決するより外無しとも爲し能はざる可し、獨逸と雖も恐らく今何とも手の著け樣無からん引揚げ來れる一行は赤十字醫師看護婦に露人貴族の家庭教師等也（特電）

浦鹽の強盜騷　家人狙擊さる

四日午前九時浦鹽自動車店に強盜押入り物をも言はず主人外店員二名を狙擊し姿を匿したるが強盜は家內の樣子を知れるものゝ如く急報に接するや民軍隊は直に活動を開始せり（浦鹽電報）

三江口流氷全部流出す（奉天特電）

四鄭線三江口假橋附近に山を爲したる流氷は一日朝全部流出し危險全く除かれ列車の進行全く安全となりたるより係員一同は愁眉を開き奧地視察者は安全に旅行し得るに至れり（奉天特電）

大阪灘新酒賣出

三十三圓五十錢

灘新酒は來る十日より賣出しを開始する事となりたるが値段は古酒より一圓方下輭即ち三十三圓五十錢なりと（大阪特電）

ナリネの國より

＝喇嘛僧同行記＝　金谷生

◆秀麗なる太陽の國は又美しき樹木の國也　下關新羅丸にて

◆蒙古の喇嘛僧一行を乘せたる新羅丸は今關門海峽を徐行しつゝあり、喇嘛の一行は新羅丸の華麗に驚きつゝ『これ佛の力なり人間の業ならず』といふ、秀麗なるナリネ（太陽）の國はまた美しき樹木の國なりと歡喜にあふれつゝあり。北平原の民には實に有理にこそ存ぜられ候。◆昨夜海上星辰の名を訊きたるに喇嘛は割合に天體の運行に注意するもの、如し由來埃及、波斯等の平原國民にはこれも有理の事と存ぜられ候。

◆關釜連絡船は逐年乘客數の增加を見るも特に本年の今日此頃は歸來者多しとの事に候、これは滿洲地方一般好景氣の爲め內地の春を訪ぬる人の多き爲めかとは船員のはなしに候

◆然るにまた近來鮮人の乘客も著しく本船にも鮮人少女の內地に紡績見習の爲めに赴く者四十餘名これあり候、少女等は埼玉縣の工場に働き再び歸國する平安北道地方の者に候

◆それに近來また鮮人勞働者の北海道及び九州地方に出稼ぎする者も多き由連絡船は往きも復りも大繁昌の有樣に候

◆奉天より北方の珍客と行を共にせる小生は此の平和なる蒙古人の所感を聞きてそのむかし弘安年間の歷史を追懷いたし候下關棧橋は間近しこれにて一先づ擱筆仕り候（四月四日午後七時十分）

綻び初めた釜山の櫻

今日此頃の暖さに釜山の此處彼處にも櫻の蕾が見え出した、釜山府廳官舍南庭の櫻は大分咲きそめて行きかふ人の情緒を唆つてゐる

◆綻び初めた許りではあるが觀櫻の宴、官舍の庭い〳〵後庭には三々伍々色々な見せて居る

◆東本願寺の櫻、草梁釜山鎭も徐々櫻の時代となつた

白湯を頭から浴せ掛けられて

▽―裸へながら―女義太夫になる
▽―辛い修業を―した憶ひ出話し
◆竹本奈良梅◆◆◆稽古場巡禮（その五）

本町三丁目釘本商店の橫の路次を這入つた所に義太夫の女師匠の竹本奈良梅がゐる、最う五十の坂を越したお婆さんだが、有繫は四十年近くも藝界の水にたじむで來た有難さ、まだ何處やらに嬌めかした昔の美しい名殘りが見ねる。奈良梅と言へば

（鮮に來る十年前までは初めて看板を揚げた大阪は素より神戶東京迄でも可なり通つた名前であつた）

その奈良梅師匠自からが話す若い頃の思ひ出話は却々に面白く

ソコに昔の女義太夫の苦しさ、辛さがある『今の女太夫は藝よりも顏で修業も昔程に辛くはありませんが、妾達の習ふ頃はそれは苦しい目にも遭つたものでした、妾の家は兄妹共が皆壽命が薄いのか、身體が弱いのか、亡くなつて終ふので、親達が心配して妾だけ義太夫でも習はしたら丈夫になるだらうといふところから

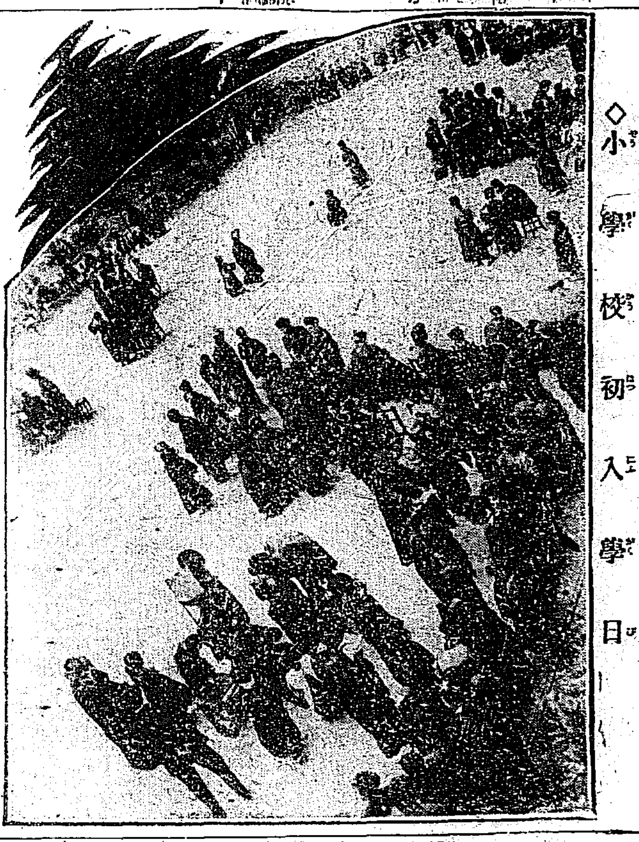
◆十三の時　三味線を攝津大掾の師匠の三味線彈であつた濱右衞門さんの弟子で今東京の朝大夫の三味線を彈いて居る野澤松次郎といふ人に語る方は八代目の染太夫さんに就いて稽古を始めたのでしたが、その頃は朝七時頃からお稽古に行つて、席に出て一人のお客さんも來ない、まだお太陽樣の高い內に自分を濟まして終ふと、姐さんたちの行李を開いたり、三味線を出したり白湯を出したり、洋燈もない時代でしたから蠟燭の心を剪りに出たりして

（席が入ると高座の跡片付け杯をして自分の家へ歸つて來るのは何うしても二時過ぎになるのでした）

その上に姐さんたちの意地の惡いことといつたら、湯呑の出しやうが惡いといつては、心の剪りやうが惡いといつてはお客さんの澤山見てゐる高座で白湯を頭から、浴せかけられたのでした湯をかけられたか判りません、そんな風で怖な憬へながら心が消わたりして姿なども何度白剪りに行くと手許が狂つて蠟燭の代りこちらも強いもので頭は男のやうに丁髷に結ひ、股引を穿いて尻捲りといふ樣な姿で辯當と淨瑠璃本を背負うて席に通ひ喧嘩なぞをしても女だてらに却々負けてはゐない位でした親が元來義太夫語りにする積りでは無かつたのですから、其樣

◆辛い修業はせいでもといふての頃呂昇の座に居ります末虎だのその他小さい子供ばかりの一座を拵らへて出た事もありました、その頃は何んでも數を澤山に知つてゐなければ、肩身が狹いといふので、一度も習つた事の無いものを席亭から所望されると知らないとは言はれず、夜通しで本を讀んで文句を覺え翌る日師匠の所へ走つて敎へて貰ひ直ぐその晩にはそれを語るといふやうな亂暴な事したものです、その頃の女義太夫といへば菊石面か片眼か跛かといふ風で女らしい女は探しても無く、時々呂昇の當り前なのが出ると皆生さんたちがワイ〳〵騷いだもので、この點は今とは大分違つて居りました

◇小學校初入學日



自轉車盜難が多い

寒い間は防寒用の外套類の盜難が多かつたが近來暖かくなつたもので京城では又も小泥棒が徘徊して靴泥棒が殖ねたやうだ、けれども位では彼等も面白い收入にも成らぬもので此度は自轉車泥棒が滅切り多くなり銀行會社郵便局のやうな多數人の集まる場所を覘つて一寸構外にでも乘り棄てゝ置くと早速窃んで乘り逃げするのだ此の被害が一日五六件以上ある、是等は全く乘用者の不注意からヤラれるのだこの際特に注意することが肝要である

臼井友之助氏訴へらる

京城府居住手島章平張命根の兩氏は四月四日同貫鐵洞百三十五番地居住臼井友之助氏に對する告訴狀を鍾路警察署に提出せる由なるが右は詐欺橫領事件なりと

明日から一人で學校に來れる

入小學校の入學式日の出、南大門、櫻井、鍾路、西大門、東大門、龍山、元町の八小學校では五日午前十時から入學式を行つた天氣は[illegible]

▽▲學校へ入學する[illegible]

▽▲特別に温順しい[illegible]

▽▲珍らしいので[illegible]

家庭に對する

▽▲家庭に對する[illegible]はお正午頃であつた小さい生徒は明日から一人で學校に來れると威張つてゐた

我が子を生埋

京畿道水原郡飛鳳面紫安里李富積（三二）は養育に困りたる末同女萬福（五）を二三二十九日朝南陽面龍水里の山中に連れ行き穴を穿ちて生埋めにして殺害したること發覺し富積は水原署に逮捕さる

書畫骨董入札

[illegible]七日[illegible]

小火

五日午前十時五分頃京城前[illegible]坂洞百九番地製本職工白龍基方温突の焚口より松葉に燃ゑうつりて同家を半燒常備消防隊出動して消し止む

大火傷

京城鍾路五丁目二千九十五番地畑中の藁小屋居住の李俊元（四八）方より四日午前九時半頃發火し同家を半燒して間もなく消し止めたるが俊元は全身に大火傷を負ひ生命危篤なり

大邱の初雷

大邱附近には二日午後一時三十一分より約二時間に[illegible]

家庭敎訓的活動寫眞

チャレス、デッケンス傑作
◎クリスマスカロル（守錢奴の改悔）
敎訓深き家庭劇
◎孝子五郎正宗（浪花節入り）
四月五日（金）六日（土）二日間開催
◎會場　有樂館
◎主催　京城青年會

新券番稻荷祭

新券番にては五日正午より同券番の稻荷祭を行ひ、式後花柳界の[illegible]を招待したり

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

▲箝めね　折目樋市

〇鶴（一等）　京城南大門通五丁目八二目良分店內

佳作　京城柴水、仁川[illegible]洞、京城白岩、京城妙[illegible]京城鶴浜、京城つれよ、京城久保田生、廣州成[illegible]寬、龍山省巳生、龍山愛[illegible]生、全北正記、京城一[illegible]

（次回課題）

◎正誤　四日夕刊二面記念植樹の見出し中「捷者は傑な抽我さありしは松の誤り」

商況

兵庫期米

四日前場寄付	二十六圓二十[illegible]

東京期米特電

前後場	二十五圓七十[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

五日前場	寄付	二七、〇三〇
		二六、五〇〇
		二五、七〇〇

下關期米特電

[illegible]

雜報

◎絹糸布下押す
[illegible]

◎現物も六七圓安

◎絹布は龍レ十一圓三十錢

◎三銘先物十一圓五十五錢

◎正米强持合ひ
[illegible]

◎新動機待つの外なく
[illegible]

◎製紛依然氣迷
[illegible]

◎許可した模樣
[illegible]

◎鐵板輸入困難
[illegible]

仁川正米

上白米	三〇〇叺
遊馬米	二六〇叺

◎大阪(四日)

◎大豆下押す
約三四十錢方下押せり

◎鮮白跳返す

◎一氣五六十丁方

◎木炭依然强調

◎豆類引續軟弱

◎前途排底見越し思惑潜み

◎逐次に引緊

◎一割方低落

各地商況

南大門の廻穀

[illegible]

釜山穀物（四日）

[illegible]

仁川期米

◎五日前場（保合）
二十一圓二十二錢高
二十一錢と三錢高

市場雜觀

▲昨止より一錢高
▲依然保合
[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　仁川本町　内海仲買店　電話　五〇七番
仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町　仲買店　電話
仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　今村覺次郎　電話　三七八番
仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町二丁目　仲買店　電話　六〇二番
仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　三巴仲買店　電話
叺繩莚　穀物叺及石炭鹽用莚各種　大田本町二丁目　箕浦商店　長電話五二番

仁川米豆取引所　五日の六月限

寄付	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
引け	[illegible]

白米標準値

二十六圓八十錢

小賣白米

一等白米	二十七錢五厘
二等白米	二十七錢

大阪期米

[illegible]

課題及募集規定

▲募集規程▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は本名の外に住所氏名明記の事▲一等[illegible]

天氣

小雨後曇

（五日午後六時より六日午後六時迄）

▲四月六日　日出　六時十三分　日沒　七時

滿潮　仁川　午前[illegible]　午後[illegible]
干潮　釜山　[illegible]

隨分愉快な旅行でした

九大總長眞野博士は語って曰く
時間の能く勵行されることに驚いた

●強ひて云はゞむしろ少し小工業を起したい事である

九州帝大總長眞野博士滿鮮視察の途を五龍背に迎へて劑を叩ずれば博士は莞爾として快活に語るらく

◆演習林＝旅行の目的

今度の視察は別に之れと云ふ目的があつた譯でなく、朝鮮の演習林の視察に出掛けた序でを以て僅少の時日を割いて一寸やつて來られるから來た迄の事である、殊に近來滿洲と內地而かも北九州方面とは關係が一層深くなつたから見て決して無駄でないと思つたからだ滿洲も近來面目を改めて商工業も大に發展したと云ふ事は聞かねでもなかつたが

◆來て見ると＝其盛んなるに

活氣の旺盛せる事而かも車中に於ける在住者の雜談などに於てもキビ／＼して誰れでもジッとしてはゐられない樣な物腰には一驚を喫しました、兎に角十年以前見た滿洲とは到底同日の談ではない、此の度の旅行は本溪湖、奉天、撫順、大連、旅順等で遂に奉天以北長春方面に行けなかつたのは如何にも殘念であつた、が見た處だけは先づ短時間で而かも最も綿密に見た積りである、其れも今でも內地では時間の勵行が出來ぬが滿洲は活動が激甚である丈け時間に猶豫がないのかキチン／＼と時間通りに視察が出來たからだと思ふ長春方面は此の次ぎには是非行つて見る積りだ、それに朝鮮には演習林等の關係から屢々往復するから少しの時間があれば極めて簡易に見られるからであるそれから大連では

◆氣持の＝好いほどに

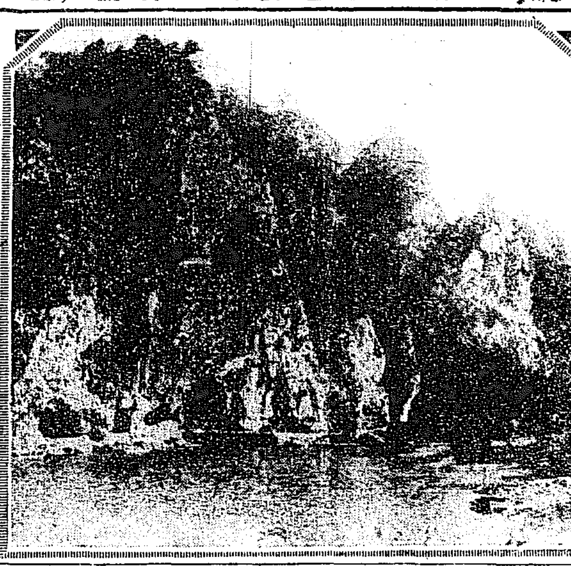
時間を勵行することである、自分が大連、旅順を訪問しての歸途午後一時半頃の事だ、初めから一度大連上水道の水源地を見て呉れとの註文があつたので、僅か四時間位ゐの短時間で見なければならないことになつた、そしてトロに乘つての往復に少くとも三時間半は要すると云ふ場所だがそれを五時には自動車で迎へに來るべく命じて置いた處がキチンと五時にはトロで歸る自動車は迎へに來た、そして學士會の歡迎會に臨めば豫定の通り七時にはチャンと主客が揃つて開會が出來る、此の氣持の善い事と云つたら迚も何處でも見られぬ事であつた、僅か二三日の大連滯在であつたがキチン／＼時間通りに仕事が出來て視察が出來、其上市街の體裁も西洋式であり宿屋もホテルだものだから朝飯が遲いとか早やいとか女中が氣が付く／＼とか付かぬとかの面倒臭い事はなく來訪者の應接に對しても日本式の旅屋とは大に趣が異なつてゐるものだから行るべき事は

◆サッサ＝と片付くので

若い時洋行したが恰も其の時の樣な宵に善い氣持がした而して撫順の工業や沙河口の工場抔を仔細に視たが其の規模の雄大なるは殆んど內地では見られない事である、殊に前述の各工場が創設の當時は啻ろ其の大なるに驚いたものが今ではモウ其增設擴張を叫ばれてゐる始末であるから大工場としての素地は大に確實になつてゐるが一面に於て

◆滿洲に＝小工場が尠い

未だ今日の狀態では滿洲に於ては今少し小工場小工業を起すの必要がありはしないかと思ふ、是れ纔に從つて滿洲工業の完全なる發展と確實なる基礎を作る所以であるからである。



九州視察團寫眞帖（耶馬溪青洞門全景）

疑問の ルーブル如何

●とう／＼保合になつた●果して何時まで續くべき乎

露貨は其後四百留所にて保合を續け、市場氣配頗る閑にして僅かに變動來るべしとも察せられず、此の保合につきては弱氣連は多少意外の感なきに非ず、元來先般の暴騰がシベリアに於ける本邦政府の態度によりて生じたるとは一般の見る所なるが其後該問題は更に展開を見ず、出兵問題の如きは殆んど立消にの有樣なるにも拘はらず依然露貨市場が亂れざるは

不可思議なりと

●察するに弱氣連中の苦しい●

無理からぬ所なり、然かも弱氣連が留まり居るは、結局市場に見物拂底なるが故にして眞正の底弱の多きに依らざるが如し、四月一日の市塲は寄付四百八留に始まり、高値四百四迄出したるも後場に於て大に氣配弱りて四百二十三留の安値を示し、引け塲は四百二十所たるべし、此の日々の小高下持合は今後何時まで繼續すべきかは時局の展開如何の不明なる今日到底逆睹し難き所なるが、若し

此の單調を以て

●久しきに亘るとせんか●

南方の露貨相塲師間は弱氣に傾くの已むを得ざるを見る、或は此の傾向が意外に早く來るやも計られず、現狀警戒期の段落には又一騷動見るべしと察せらる（長春）

揣み合ひたる 材木と大豆

●何故材木が拂底なる乎●

材木は哈爾賓方面の北滿品の南下甚だ稀にして近來は前項露貨相塲の高値の為め愈よ來市杜絶となり長春には目下材木の拂底は極度に達せり此の北滿材南下杜絶は單に露貨相塲が假に多少安値を唱へたりとも目下哈爾賓の大豆滯貨が一掃し終らざる限りコンミッションの點に於て東支鐵道役員に對し大豆商人程度額を出しては材木にては引合はず、結局貨車提供を受け難く之に加ふるに吉林材は松花江解氷後未だ長春に出廻り來る迄の運びに至らず長春材木拂底は猶當分救濟されざるべし（長春）

容貌や衣裳に相應しい半襟

●付屬して選んだら好いか●

◆半襟は婦人の最も選ばなければならぬ品で之が爲めに立派な衣裳を生かしも殺しもするのであるからその色彩と模樣の選擇には充分の註意をしなければならぬ、從つて流行に左右さるべきものでなく、著物や帶の色、髮の毛の多少、顏の格向抔と相談の上定める必要がある。

◆衣裳の色合と同じ色か又は他の色ならば著物より感じの柔かなものが宜い、著物より濃くする場合には帶止か裾模樣か下の方でそれと同色のものを現はして調和をとるのである、帶が目立つのならば半襟も目立たせることゝなる、髮の毛の餘り薄かつたり赤かつたりする人は半襟の色や模樣に強いものを用ひると顏が貧弱さるゝことがあるから此邊は加減するのである。

◆菊や牡丹の狂ひ咲きといつた樣な大きな模樣は十七八の娘ならば肥つた婦人、脊の低い人、丸ポチャの人等は何れも一層の可愛さを加へるが奥樣方には脊の高い人以外には寧へものゝ如うに思はれる、横に線の入つた襟も之と同樣である。

◆色の白い女は何色を用ひても似付くが黑い人は可成く黑つぽいものが宜しい、蒼い顏、面長淋しい感じのする人等には水色、青磁、空色、藍色等の襟は大の禁物である、何故なればその人を一層青く淋しく開して頰をこけさせて見せるのである。

◆由來和服は平面的に出來てゐるから目立たさなければならぬ場所にある半襟には刺繡か絞かよいと思はれる、夜の半襟は晝とは餘程樣子を變へなければならぬ、殊になる時又は二三人位の寄の中に出る場合には靜かな夜の氣分に相應しい柔かな暖かな感を添はせる爲めに至極薄い色か著物と同じ色として襟の出し方も少くし模樣も無い方が見よい。

◆夜會や劇場等には藤色、鼠、青磁等は全く不可ない成可く濃い色が對照が宜い、そして刺繡なぞよりは金絲銀絲を用ひたい、淺山の花を盛り上げた如うに刺繡つたものよりは銀絲で現はした一葉の縮の葉が何れ程強く人目を射るか判らない、先づ婦人達の春の外出には第一此の襟を選んで見る必要があると思ふ。（平壤）

滯貨益多し

長春驛の大豆滯貨は激增を重ねて竟に二十萬を越え居れり此は先般の南方相場昂り折りに北滿品の續々南下し來りしに依るものにして目下は既に長春の出廻減少しつゝあれば日々減少を見つゝあるが先般來の哈爾賓其他東支南部支線沿線よりの來貨は日々東支貨車にて二百車を算せし日が一週間も續き其後も百五十車程の來車ありたり然るに昨今に至り北滿大豆商下品が急に減少したるは長春及び南方に於ける相場低落に反し露貨は依然高値を唱へ居るが故に運賃增大して收支に於て利薄く爲めに北滿大豆商人は哈爾賓等に多量の滯貨を擁し乍ら露貨の氣配を覗ひ居るもの多きに由ると（奉天）

平壤を目指して

●續々支店又は出張所の新設●

近時平壤の發展膨脹は實に著しいもので漸く朝鮮に於ける商工業界の中心地たるの聲が大になつて內地各所よりの視察者も續々と入込んで來る現狀である、從つて將來其有望なるを認めた會社商店にして平壤に支店若しくは出張所を設置せんとの計畫ある向きが大分多數に上つてゐる、既に東京建物株式會社の出張所も設けられ近く京城の三園商會も其支店を設くる事になつて建築敷地まで選定されてゐる又三井物產株式會社も出張所を近く設けるとの事、京城の三中井呉服店も支店を置くべく目下準備中であるさうだ、其他東京大阪神戶等の豪商で平壤に支店を設置すべき計畫ある向きは二三に止まらない狀勢である（平壤）

頗る有望なる 柳行李細工

●立派な特產物となる●

公州杞柳組合は去る大正五年二月の創立なるが其の資本金は三千二百圓にして事業としては杞柳の栽培及び杞柳加工品の販賣等なるが同組合の杞柳栽培面積は纔かに二町六反步に過ぎざるも附近に於ける日鮮人にして個人に栽培するものゝ漸く多きを加へ現今に於ては約三十町步に達するに到れり加工は公州監獄の委託事業にして一箇年の生產高約六千圓なりと云ふ其の販路は釜山を最とし成鏡北道を除くの外殆んど全鮮に亙り遠く滿洲就中奉天方面に販路あり唯だ憾むらくは是迄常に原料不足の為め內地より一部の輸入をなしたると製造地の公州が土地僻遠の爲め原料及び加工品の輸送に意外の經費を要する爲め其の利益は意外に僅少なるも今年は一割二分に相當する成績を擧げ得たりと云ふ猶同事業も大田監獄完成の上は自然大田に移さるゝに至るべしと（公州）

新案の耕作法

●是れなら陸棉も大豆も共に兩立して產額を增すべし●

大正五年度に於ける忠淸南道の大豆作付反別は三萬四千五百餘町步にして其の收穫高は二十二萬石に達し其の價格も一石十圓と見て二百二十萬圓に達する由なるが近來陸地棉の栽培漸く盛んならんとする傾向あり自然大豆作付反別の減少を見ることあるべきを慮り荒蕪地及び水田の畦畔を利用して大豆作の獎勵を試み調査の結果倒の畦畔一萬七千餘町步あり猶且つ大豆の適地と認めらるべきものゝみにても五千餘町步に達する見込みなるを以て道當局は茲に見る處あり大正六年度に於て五百八十餘町步に大豆の畦畔を獎勵したる結果八千百二十五石の實收を見たり現今の大豆石當りは十八圓內外と稱するも平均時價を十圓と假定せば優に八萬一千二百五十圓に達するの好成績を得たるを以て本年度に於ては更らに畦畔利用の步を進むる方針なりと（公州）

大連と鎭南浦 新航路の開始

朝鮮郵船の新たに宗信丸をして大連鎭南浦間に就航せしむる事は既報の如くなるが愈々四月一日より就航し毎月數回往復する筈（大連）

◎龍山大工同業組合設立 新たに龍山在住の大工業者三百餘名は今般同業組合を設立し今大に相互の親睦を圖るべしと

台所 その日／＼

◆牡蠣めし◆

先づ牡蠣の剝肉を笊に入れ其儘水に入れ笊をふり乍ら／しながらよく洗ひ貝の破片のない樣に注意しよく水氣を切り鍋に少量の水を入れて火にかけ二三回沸騰した時前の牡蠣を入れざつと煮あげ再び笊にあげて置く白米をいつもの如くさき水を減らなす時に前の牡蠣の煮汁をもまぜて加減し火をたきこみ飯がふき上つて火を引かんとする時牡蠣を入れ蓋をしつかりして其儘蒸し飯櫃に移す時かきまぜる猪飯が出來上つたら茶碗に盛り前に拵へて置いた煮汁をかけ適宜の藥味を添へます

仁川期米

▲五日後場 大阪前止め後寄共變らざる入電にて中二十二圓二十錢より十七錢先

△中限一節二十二圓二十錢十九錢七錢平均値段十九錢二節十七錢六錢平均値段十六錢三節十五錢四節十六錢七錢平均値段十七錢

△先限一節二十二圓二十三錢二錢

五日の六月限

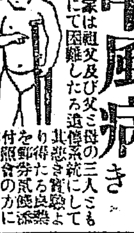
後場	
寄付	二十二圓二十三錢
止メ	二十二圓十八錢
高値	二十二圓二十三錢
安値	二十二圓十五錢

月やく

とくてまり不順のため食後胸につかへ時々嘔氣を催し足腰下腹痛み逆上頭痛肩凝して何となく心配の方は御用ひ下さい 私方へ返信料添へ御申込あれ次第なくおりる妙藥を入用にお知らせす

東京四谷區簟笥町停留場前 森田屋

中風病 ちうき



余が家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困難したる遺傳系統にして其恐しき實驗によりて得たる良藥を郵券貳錢封入にて照會の方に付詳細申上ぐ 千人に限り名士題字の療養書無代進呈す

兵庫縣明石中町 加古忠兵衛

職業

日韓專賣特許品原紙貨與多年經驗弊店獨特の發明品加工品取扱親切取引確實 男女何人にても簡易に出來 上田總本店

慢性りん病

淺田藥局 大阪市南區櫻川四丁目

公認 丸五 商會

贊化病院 京城明治町一丁目 電話二四番

內科 小兒科 入院隨意 每日五名を限り無料施療す 醫學博士 古城憲治

コロタイプ印刷 繪葉書製造、諸記念寫眞帖 龍山漢江通八（電話五三六番） 門田寫眞製版所

法人登記公告

平昌地方金融組合登記事項中（變更）事務所ヲ左記ノ所ニ移轉ス 其所在地 江原道平昌郡平昌面 大正七年參月貳拾六日登記 右 京城地方法院平昌出張所

コールタール 京城電氣會社製 特約販賣 龍山漢江通り八 電話四九番 金物商 島田忠作商店

謹告

一今般菓子原料暴騰の爲め同志會の決議に依り本日より菓子類の卸賣及小賣の目方賣を左の通り英斤に改正販賣の事に相成候條右御了承奉願上候也

一磅 賣 目方百二十匁

大正七年四月五日

京龍菓子製造同志會

優等清酒

發賣元 永樂町二丁目 本莊酒店 電話六五四番

利益

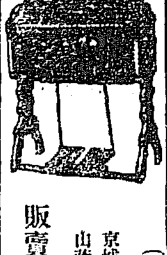
◎巧妙なる株式賣買は興產の一法なり◎本會の口拾ふ共同株式賣買は益々隆盛にて會員日に日に增加す◎本會は損金辨償配當保證付安全確實の組織なり◎興產に志す人は速に申込め會則呈す

東京市本郷區動坂町一三八 振替東京三九〇七九番 興產研究會內 共興會

旅行用具一切

本年流行 洋傘各種新荷著 專賣品 柳製鞄 毛布一枚續 三圓五十錢以上 上物各種 東京製鞄各種 防水布マント各種 魔法瓶及中瓶取替

鞄製造販賣 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話三一四番



（目錄贈呈）京城本町二丁目二十九番地 山葉樂器朝鮮代理店 販賣元 釘本樂器部 電話一二八三番

內科 呼吸器病 腸胃病 小兒科 婦人病 京城若草町大通り 今村醫院 電話一八三一番

謹告

三月中賣買出來高例に依り 第一位

突如軟軍の大活動に端を開き破軍の遂擊將に商戰酣なり其白兵戰の歸する處御達觀御利用あらんことを

大阪堂島米穀取引所仲買人 合資會社 我一郎商店 電話長北二四八番 二四九番 二五〇番 二五一番 二二六六番 自宅 電話西の宮一八二番

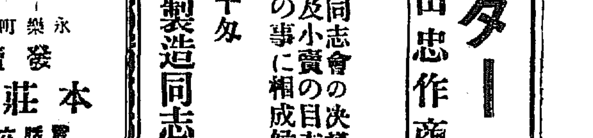
富源

▲小尾要報●規定書送呈申込往復葉書 百萬の富、一錢の貯蓄を始め最も興味有る蓄財方法 勸業貯蓄債券 六八 壹萬圓 五月抽籤 輕便 小尾兩替店

最上醤油 鮮銘 仁川 杉醬油釀造場

質 債券買入 倉庫完全 京城櫻井町二丁目 電話三一〇番 杉本質店

最新流行 時間正確



新荷著 純ニッケル側十二形アンクル腕卷 堅牢無比 金拾壹圓

▲瑞西國製 七寶裝飾入 特價金七圓

腕專用にして貴婦人用男子用に適し最も優美 尙ほ金銀側懷中時計最新流行品取揃居候

京城太平通一丁目 京日代理部 振替京城三〇〇番

故末廣信三郎儀葬送ノ際ハ遠路御會葬被成下候處御尊名伺洩之ヤモ難計候ニ付乍略儀以紙上御厚禮申上候也

大正七年四月五日

妻 末廣あき

親戚 田中豐太郎 後藤秀庵

友人 富田金雄

塚原卜傳

第三十六席　悟道軒圓玉口演

天下第一の智者と言はれし細川兵部大輔藤孝の言葉を聞いて塚原も感じ入り 小『事を分けたる仰せ、若氣の至り一時の怒りに任せ御座所間近を騒がせ申したる段重々恐れ入り奉つる如何にも御意の通り因は一婦人の身より生じたる事、決して拙者が事を好んで斯樣な暴動に及んだ譯でもござりませぬが、岩成殿が卑怯にも欺し討たんと計りしより、武士の意氣地引くに退かれず、大人氣なしとは存じながら荒々しき仕末に及び赤面の至りに存じまする岩成殿方に異存なく

ば拙者に於ては何時にても引取ります所存……』藤『然らば塚原氏は御心底藤孝感服仕る、さて岩成氏は如何思はるゝか、此藤孝の扱ひ不滿足に思召さば是非に及ばんが、併し此儀お任せ下さる方御爲かと存ずる』主『誠に細川殿面目次第もござらん、つい拙者も武邊の意地より、引くに退かれず、粗暴な擧動をいたしましたが、外ならぬ細川殿の御仲裁、固を洗へばさしたる遺恨もござらぬ依つて御言葉に隨ひお任せ申すことに致しませう』藤『其れは重疊、解くれば同じ谷川の水とか解けて了へば互ひに恨む所もないわけ、拙者も仲裁致がいたす』主『誠に面目ござらん細川殿へお斷りいたすが何うか此事内分に……』藤『御心配は無用、お互

に名を惜しむは武士の常、何事も弓矢の手前見苦しき擧動はなさらんやうに御氣を付なされ、ヤア三彌、其方も能々愼しんで主人に非あらば諫めるが本分、以來氣を付けよ、アイヤ塚原氏これにてお引取下さるやう』小『心得ましてござる』恭しく一禮を述べて小太郎其儘座を打拂つて立踊る、岩成が改めて藤孝を別席に招じ改めて詫をする、藤孝も苦勞人、好い按配に挨拶して立戻りましたが、主税助は跡で忌々しい奴は藤孝、彼奴のために折角小太郎を討果す計略が水

の泡と消ねて了つた殘念千萬と歯を喰縛つて口惜しがつたが、仕方がござりません、此方は塚原小太郎旅宿へ立踊ると下國親娘が来て居りまして 佐『イヤ塚原殿飛んだ目に遇ひましてござる』小『コレは佐太夫殿何うなすつて、照代殿も姿は亂れ取亂して居られる樣子、何か仔細がありさうな……』佐『實は御厚意に隨つて今朝出立の支度なして居ります所へ突然に岩成の家來が五六人踏込んで参りまして照代を攫つて參らうといたします』小『ハア』佐『手前も一生懸命防ぎましたが何を申すも盲目の事、打倒されて已に一刀の錆とも相成るといふ場合、娘が聲を上げて援助を求めましたが、其聲が通じたものか其場へ馳付けてお出下すつたお武家、馬上で十二三人の供の方々

が飛込んで來て岩成の家來を追散らし、幸ひ娘を取返して下すつた其嬉しさ、お名前を伺へば當時將軍家の御執見職細川兵部大輔藤孝殿との事……』小『アノ細川殿が……』佐『仔細を申せとのお尋ねに一伍一什のお話を申上げましたる處細川殿には以ての外に驚かれ、塚原氏の身上こそ心許なしと拙者親娘を伴つて當家へ參り聞けば今朝同じ時刻に、山名監物殿よりお迎ひの使者來つて塚原氏には御所内へ御出なされしとの事、さては岩成が奸計にて山名殿の名を詐り、塚原氏を誘き出せしに相違なし、義人小太郎殿を討たせては一大事と、細川殿には馬を飛して岩成の屋敷へ馳付けられましたが、實はりを聞いて胸が鉄諦きました、なれどマア能く岩成の屋敷をお切抜けになりました』小『イヤ初めて承はつた細川殿の御厚志、何分烈しき折柄とて詳しくも仔細を承はらなかつたが其れにて委細相解つた、悟くいは岩成主税、實は斯々』と物語るありし次第、

春着用 画絹 京染呉服商 たまや出張所 京城本町 電話一九六番

四月七日 九星
舊二月廿六日 甲申
本命六白 乾取先負

▲六白 自ら禍を招かんとす謹而事を見合す可し ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黑 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四綠 [illegible] ▲五黄 [illegible]

演藝案内

有樂館 電話(階上)五九七番(階下)一〇五番
東京日本活動寫眞株式會社特約　早川演藝部直營 活動寫眞常設館
○クリスマスカロル　ヂッケンス傑作 家庭教訓的活動寫眞(守錢奴の改悟)
○五郎正宗孝子傳(浪花節入り)　教訓深き家庭劇
四月五日六日(二日間)開催
主催 京城青年會　協賛 有樂館

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番
▲來る四月三日より開演 東京浪花節 幹事 桃中軒如園
○同 顧問 吉川小善次
右合同大一座にて開演入場料は今回は前例なき破格の提供を以て [illegible]
一、義烈白傑、桃中軒如水　一、孝子の誉、桃中軒如行　一、江戸の花、一鉄　一、雄一　一、義士傳、吉川一二三　一、女大學　一淸水次郎長、吉川小善次　一樋口三郎、桃中軒如凰

大正館 櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社制作代理店
○當る四月五日より大喜劇ご大餘興
○米國ミカチアール會社作品 ハイチレス山
△山羊奴 吾猛夫一派
○滑稽之大王チャップリン伯爵
○新派活悲劇『きんざ時雨』全三巻
○大餘興『英國軒ハレー出演』
[illegible]

壽館 京城本町 電話一〇五〇
四月六日土曜午後正五時より 坂井旭水師送別琵琶大會
[illegible]

黄金館 電話二六三七 二六六
大阪芦辺俱楽部株式會社京城釜山一手代理店
○新派新悲劇『七化け緑兵衛』全四巻
○泰西活劇『闇の巻』全四巻
○新派悲劇『縁のもつれ』全四巻
[illegible]

壽座 京城壽町 電話五七八番
四月五日午後五時より開場第二回替り狂言
▲第一 喜劇あいさつ遊び 一幕
▲第二 連鎖モデル劇 十二場
▲第三 舊劇毛谷村六助(六助宅)
▲第四 喜劇粋な親父 三幕
[illegible]

▲廣告▼

りん病 清潤丸で困る方の手切 三錢送れ自宅で秘密に治す秘法を無代でお教へ致し升 人助け 名古屋市南かじや町 武藤嘉吉

月經 流經新薬レスノリン 閉止四五ヶ月以内 [illegible] 遂ぐ 大阪北區 上二丁目 三六地 常盤藥院

女子の本分
▲生活費を節約せんとせば
▲速に料理を研究せられよ

女子の本分は婦道を修め、家政に專らなるにあり。茶の湯、生花、音樂等の如きは、趣味を向上せしむるに必要ならんも更に肝要なるは、家庭料理を研究し、禮儀作法を習得するにあり。女子にして此の心得無くば「如何に趣味の向上に努むるも、遂に實務的婦人たる能はずして女子の本分を盡し難かるべし。殊に食料品諸物價の高値を示しつゝある今日、眞に合理的の安價生活を實行して生活費の節約を計るには、是非共料理を研究せざる可らず。然らば如何にせば最も容易に料理に精通し、禮儀作法を習得し得るやと云ふに

■板垣伯爵夫人 は此〇點に留意し、夙に東京割烹講習會を設立し、同所より「家庭料理講義録」を發行し、斯界の專門大家を聘して、料理及び禮儀作法を講義せしめ、我が國の家庭の婦人をして、居ながらに [illegible] 禮儀作法に通ぜしめんとしつゝあれば同會に入會して、其「家庭料理講義録」の配附を受くるが、最も早道なるべし、今左に其内容の大略を記述せん。

■日本料理科 には日本固有の儀式料理▲本膳料理▲各種會席料理▲四季毎日の獻立▲季節物應用の惣菜料理▲晩餐料理▲即席料理▲家常料理等、日本料理に關する一切を講義す。

■西洋料理科 には正餐の獻立及び其料理法▲略餐の獻立及び其料理法▲獸鳥魚肉野菜各國の各種料理法▲一品料理▲日本人向の洋食▲各種附合せ品の製法▲珈琲紅茶の入方等に至るまで西洋料理の一切を講義す。

■支那料理科 支那料理は世界各國の料理中最も複雜にして且つ進歩せる料理なり。本項にてはこの支那料理を詳細に講義す。

■禮儀作法科 には日常の禮▲訪問の禮▲客主の禮▲飲食の禮▲贈答の禮等の日本禮式を始めとして、西洋禮儀作法▲西洋食卓法等禮儀作法の一切を講義す。

■和洋菓子科 には實用を主として、家庭用菓子、子供向きの菓子等の製法なるものより、高尚優美なるものに至るまでを懇切に講義す。

■其の他 妊中行事▲家庭漬物▲家庭用の飲物、組物▲老人、小兒、病人の食物、調理法▲通俗化學、各種食品の研究、名流の講話等をも毎號掲載しあれば、眞に實益と趣味とを具備せる婦人必讀の講義録と云ふべし。

■比類なき特長 同講義録は同會が苦心研究の結果成り從來の講義録に見るべからざる種々の特長を有するも、就中其の著しき特長は、其の記事が悉く實習の結果たるの點にあり。されば其の記事精確にして、從來世に流布せる杜撰なるものと全く選を異にするは勿論、文章亦平易、附するに總振假名を以てしたれば一讀何人も容易に了解するを得べし。

■新學期開始 同會は目下新學期を開始し、會員の大募集中にて此の種々の特典あり。[illegible]

■入會手續 は極めて簡單にて、「ハガキ」に「講義錄送れ」と書いて申込めば、直に會則を送付して送本し、會費は毎月郵便局より。集會に行く [illegible]

■大特典有り 同會は十周年記念の爲め入會者に限り入會金を免除し「料理必讀」を進呈し、尚ほ實費六箇月分を納めたる會員には「家庭實典」を、一ケ年分納者には「記念メダル」及び「最新パン製造法」一部を進呈す。

■米價半減の寶典 近刊の「最新パン製造法」は同會講師米穀飯粉料理研究の大家田尻孫次郎先生の著にして、五郎先生の推賞を受け且つパン製造の寶典として、安價生活の指針として出版以來、かく如き好評を博せるものなり。

■見本無代進呈 見本入用の方は、申込次第無代進呈すべければ、左記に依る旨御申越あれ。

東京市本郷區元町
東京割烹講習會
振替口座東京一九四一〇番
電話小石川二六四一二番

▲新學期開始 ▲會員大募集中
▲十周年記念大特典有り
(直に申込まるべし)

胃

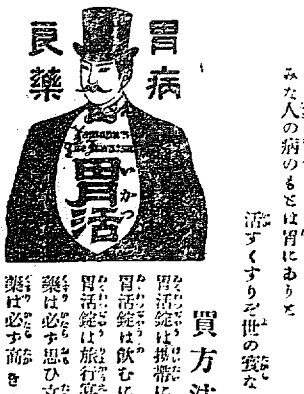
胃が強壯であれば人間の總ての病氣の百分の九十を豫防することが出來る
これ一般醫學者の定説であつて、博士ボアース氏は、胃病は萬病の本なりと言はれたのは、當然である

浅川博士曰く
胃には消化の外、肝要なる消毒作用があるから、強壯なる、胃液の作用に逢へば、黴菌と雖も忽ち滅殺せらる、然るに消化藥には此消毒力がないから、根本より健胃の工夫が必要であるこ、胃活は即ち根本より胃の疾病を治し、胃液を作り、胃腑を活動せしめて、消化消毒の兩作用を全ふせしむる、絶大な効力があります、併しながら若しも

藥の撰擇を誤りて
一時の胸すかし藥や、日中藥などを用れば、必ず失敗する、五大軍醫の合議製藥胃活は、實に健胃劑の覇王であつて「現今の世界に知られたる藥品中殆ど其比を見ず」こ言はれたる位でありますから、若しも少しでも

ハテ胃がワルイこ
思ふ人は、模範的健胃劑の、胃活を即時に、買ひ求め根本的に、御治しなされ、善は急げです

◎胃活は五大軍醫の合議製藥也
◎胃活は容量少くも効能大也
◎胃活は流行の口中藥に非ず
東久世通禧閣下詠
故從一位勳一等伯爵
みな人の病のもとは胃にありと 活すくすりぞ世の寶なる



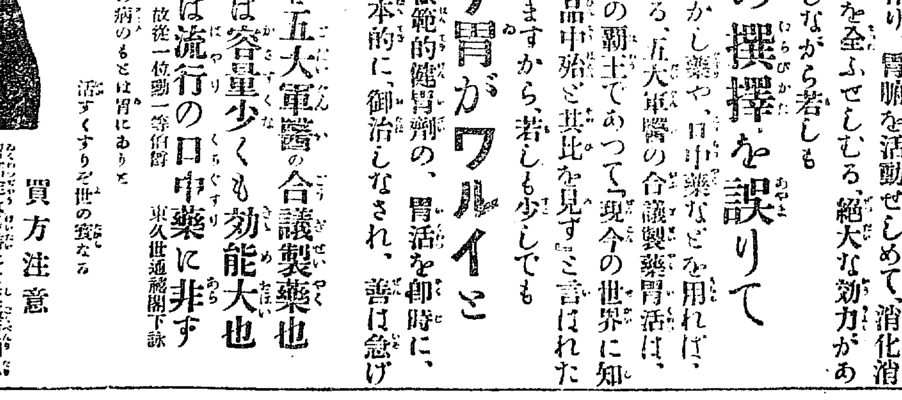
胃病良藥

買方注意
胃活錠は携帯には至極便利也
胃活錠は飲むに湯水を要せず
胃活錠は旅行宴席等に缺可ず
藥は必ず思ひ立たる時買玉へ
藥は必ず商きものを買玉へ
藥は病の經き間に買玉へ

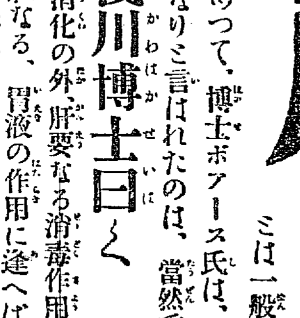
胃活〔壹圓・六拾五錢・四拾五錢・四拾胃活錠〕
定價〔五錢・貳拾五錢・拾錢定 價一拾錢・貳拾錢〕
〔貳圓・壹圓・五〕

全國各藥店にあり

本舖 東京日本橋區本銀町三 電話本局千九十七番 山田安民藥房
發賣元 大阪南久寶寺町堺筋東 電話南二千二百八番 山田安民藥房



男のひみつ病
名譽大金牌 専賣特許
東京順天堂病院始め博士諸大家の實驗效の卓效は手島式眞空治療法器は自宅で簡單に生殖器不完全、機能障害、急性慢性を療ぜし淋病に效を奏す
無代進呈す
京都市烏丸通り魚ノ棚下ル
東京市日本橋區北森三ノ廿五 東京新療法研究所
大阪市北區北森町一ノ五 大阪新療法研究所
北海道函館市末廣町十二番地 北海新療法研究所



卸問屋
大阪市東京町堀通貳
奥田商會
電話土佐堀九三三番
振替大阪二三一七番
攝津伊丹町
奥田防水布工場

内科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二七九二番

汽車 京釜線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京仁線(仁川行) 同 京元線(北行) 同(南行) [illegible]

京城日報
四月六日朝刊（夕刊併せて八頁）

遊支偶錄

蘇峰生

（七）一大同化作用

吾人は不幸にして、支那の文明に於て、新陳代謝を見ずして、陳々相因を成すを見る也。固より時々刻々に、新要素、新分子の入來なきにあらず。されど幾何もなく陳化し去る也。蓋し支那は大なる化石地獄にして、何物をも此中に投ずれば、乍ち化石となる也。吾人は實に、支那文明の同化力の偉大なるを驚嘆せずんばあらず。

支那の文明は、或る意味に於ては、極めて包容的也。彼等は總ての物をも呑み盡し、何物をも吐き出さゞる也。彼等は其の必要に應じては、新奇の物にせよ、異邦の人にせよ、之を採用するに遲疑せざる也。所謂る中華的尊大の風は、恒に自から把持するも、擴夷的精神は、殆んど總ての支那人に、多く之を認む可きもの也。吾人は李斯が逐客反對の上書中の「泰山不讓土壤、故能成其大、河海不擇細流、故能就其深、是以地無四方、民無異國」との文句が、取りも直さず、支那歷代の國是たるを疑はず。

されば彼等は印度の佛教も、アラビヤの回教も、而して何教何宗の哲學、文藝、美術、回紇徒傳來の天文、曆法の如き、何れも無遠慮に、之を採用したり。而して其の人物の如きも、其の折々の必要に應じて、異邦人を擢用したるは、漢、唐の古より清朝、民國の近代に到る迄、枚擧に遑あらざるにあらずや。漢の金日磾の如き、武帝の遺詔を受けたる重臣も、元來胡人の子にあらずや。唐の哥舒翰、封常清の徒亦た然り。乃ち忽必烈、博羅に於ける、李鴻章の戈登將軍に於ける、皆な然らざるはなし。但だ此の如く博采廣容に拘らず、一切の外來物を、何時の間にか、之を支那化する一大作用に到りては、實に吾人は想の外にあり。

英米に於ける製鐵業の趨勢（三）

一、英國に於ける製鐵業

ロ、產鐵地方の大發展

吾人は戰時に於ける製鐵業の發展に關する正確なる觀念を得んが爲、計數以外に更に有力なる英國二三製鐵會社の所言を聽くべし「ジョン、ブラウン」會社長「アバーコンウエー」卿は最近同社の總會に於て同社及其の組合商會の產鐵額は數年前に比し二倍乃至三倍の增加を來し而も將來同巨額の鋼鐵並に造船用材を產出する爲之が準備中なりと云り又「ボルカウ、ヴオーガン」會社長が同社の總會に於て爲たる言を聞くに現下同社の產鐵額は一九一五年の約二倍に達し尚目下工事を急ぎつゝある工場の擴張だに竣成せば其產出額は更に今日の二倍に達するに至るべく又新工場には勞力節減の爲之に適する器械の裝備中なりと云ふ又北部英蘭地方の一會社なる「ドルマン、ロング」會社は二百萬磅を投じて「レッドカー」に一大鐵工場を建設し更に八個の鎔鑛爐と骸炭大製造場炭坑及び鐵鑛山を有する土地を取得せんとしつゝありと云ふ西北部に於ては「バーロー」地方に新に十二個の大熔鑛爐の竣成を見んとし鑛石の供給を得ると同時に作業を開始するに至るべく又北「ランカシャー」及び「カムバーランド」諸州に於ては今方に製鐵業の大發展中にありて盛に熟練なる勞働者の輸入に努めつゝあれば新熔鑛爐の作業開始と同時に製棒製板等の新工場の開始を見るに至るべく又二年間全く作業を休止したる「ミルロー」の某大工場も三週以前より業務を開始したりと云ふ

南部威爾斯に於ても右に劣らざる大發展の計畫中なり一例を擧ぐれば十年間引續き休業せる「サイファーズファ」の熔鑛爐は新設備を施し一箇月前より事業を再始し其の他主なる諸會社は熔鑛爐及び厚板工場の生產力を激增し特に軌條、電鐵、薄板、鐵力等の大產出を急ぎつゝあり又南部威爾斯に於ける新工業の大發展としては鹽基作用の製鋼法を採用し得たることを擧ぐべし「カーヂッフ」赤鐵鑛會社の「ヨン、ハッチンソン」氏の言によれば南部威爾斯の鐵鑛は西班牙よりの輸入品に類する赤鐵鑛にして從來は「リットルガース」にて之を使用し今日「ランナーリー」にて使用し居れるものは「クレヴランド」「リンカーンシャー」及び「オックスフォードシャー」の粘土鐵鑛と異りて燐を含有せしものに非らざれば鹽基作用の製鐵に適せず之を鋼鐵と爲すには酸作用によりしものなり

勿論南部威爾斯の鐵鑛と雖も若干分量の燐鐵潛在せざるに非ざるも從來其の費用を償ひ得るに足るの分量を得る能はざりしなり然るに南部威爾斯の鐵業に對しても曩に鐵の製造法を行ひ得るに至りしより玆に南部威爾斯の製鐵業に一大飛躍を來し「ランドーア」及「ポートタルボット」等にては既に該製造法によりて盛に「ミッドランツ」鐵、鑛及外國鐵鑛の精製を爲しつゝあり又「エッブヴエール」會社は之が爲に更に新熔鑛爐をも建設し該製鐵法を開始せんと欲し新に「ノーザムプトンシャー」の粘土鐵鑛を購入せり「ハッチンソン」氏は鹽基鐵より作る鐵質の精良なることを說き南部威爾斯は勿論苟も鹽基作用の製鐵に適する地なるに於ては「ミッドランツ」「リンカーンシャー」「クレヴランド」「スコットランド」更に「グウント」に至るまでも該製鐵法の使用增加するに至るべしと云へり南部威爾斯日報の所說によれば南部威爾斯地方は未だ商工業の初步にあるものなれども之と匹敵すべき有望の地は世界の如何なる部分にも見るべからざれば其の發展は目睫の間にあるべし蓋し鑛石の引渡を行ふ海岸線の附近に炭田を有し又製鐵製板其の他の鐵工業を有し更に從來獨國が行ひたる副產物製造の設備までも有するものは南部威爾斯を措き他に之を求め難ければなりと云へり

「シェッフィールド」の發展亦看過すべからず「シェッフィールド」は元來英國に於ける鐵工業の中心地として世界馳名のものなりと雖も其の工場は多く舊式にして且小規模のものなるを免れず加ふるに外國に於ける極めて低廉なる勞力と運賃とは其の原料たる鐵鑛を內地產に求むるよりも外國品の輸入に依るを寧ろ經濟的なりしとは從來發展すべき同地の鐵工業をして未だ大に發展するに至らしめざりき然るに今次の世界戰爭は鐵工業の重要なる所以を教訓したるを以て「シェッフィールド」の鐵工業者も爰に翻然として悟る所あり同業者の合同統一乃至分業の經營を企圖し舊式の小工場は之を大會社に併合し之を或種の生產に適せしむる如き改良を行ひ以て鐵工業に關する一般能率を增進し各地に散在する鐵鑛山の開發を企て取引機關を增設したり是れ發展の第一なり

九州視察團日程

◎九州巡遊團日程

地名 發著	日次	時間	摘要
平壌發	四月十五日	前一時三十五分	朝食（京城）
京城發	同	前八時四十分	京仁間乘車
大田發	同	後十二時三十分	湖南線乘換 晝食（大田）
大邱發	同	後四時四十五分	茶菓（大邱）
釜山著	同	後七時	夜食
同 發	同	後八時卅分	關釜連絡船
下關著	十六日	前七時卅分	朝食（船中）
門司發	同	前八時三十分	
大里著	同	前八時五十分	麒麟ビール所視察
同 發	同	前十時四十分	同會社ヨリ饗應アリ
枝光著	同	後十二時十五分	製鐵所見學
八幡發	同	後三時三十五分	
博多著	同	後四時三十六分	
滯在	十七日		
同	十八日		
博多發	十九日	前八時三十分	
二日市著	同	前九時二分	太宰府參拜
同 發	同	前十一時四十分	晝食（車中）
上熊本著	同	後二時三十五分	本妙寺參拜 水前寺遊覽
熊本發	二十日	後十二時三十分	官民歡迎會
鹿兒島著	同	後七時九分	茶菓（人吉）
滯在	廿一日		各方面視察 官民歡迎會
鹿兒島發	廿二日	前九時十分	辨當（吉松） 茶菓（人吉）
久留米著	同	後六時三十五分	
滯在	廿三日		工場及名所舊蹟遊覽
久留米發	廿四日	前七時四十五分	
博多發	同	前八時三十五分	福岡縣人團此列車收容
中津著	同	後一時七分	中津著ヨリ耶馬溪
同 發	同	後三時三十分	
柿坂著	同	後四時十分	
同 發	同	後五時	
中津著	同	後七時	夜食（中津）
同 發	同	後七時三十二分	
別府著	同	後九時十分	旅館分宿
滯在	廿五日		大分市視察 官民歡迎會
別府發	廿六日	後一時五十三分	
門司著	同	後五時三十五分	山陽ホテル休憩解散
下關發	同	後九時卅分	
釜山著	廿七日	前八時卅分	朝食（船中）
同 發	同	前十時卅分	晝食（三浪津）
大邱著	同	後一時六分	茶菓（大邱）
大田著	同	後五時	湖南線乘換 夜食（大田）
京城著	同	後九時	
平壌著	廿八日	前四時五十分	

◇福岡縣人團規定◇

福岡縣人團は一行と共に十六日午後四時五十一分博多驛に著するや其儘解散し宿泊所は自宅、親戚、知友各自任意とし十七十八の兩日福岡滯在中は團體と行動を共にし十九日より全然一行と分袂し復途は二十四日午前八時五十六分博多發列車に本團と再會豐州線を經由し別府に

◇大分縣人團規定◇

大分縣人團は福岡縣人と同行程なるも福岡滯在中は宿泊其他全然本團と同一にす十九日朝より自由行動豐州沿線の各郷里に歸省更に二十四日午後別府及中津の兩所に於て本團と會合遊覽解散す

◎福岡大分縣人團日程

△往途

地名 發著	日次	時間	摘要
京城發	四月十五日	前八時四十分	
釜山著	同	後七時	
同 發	同	後八時卅分	
下關著	十六日	前七時卅分	
門司發	同	前八時三十分	
大里著	同	前八時五十分	麒麟ビール所視察
同 發	同	前十時四十分	
枝光著	同	後十二時十五分	製鐵所見學
八幡發	同	後三時三十五分	
博多著	同	後四時三十六分	福岡縣人團一時解散

△復途

地名 發著	日次	時間	摘要
博多發	四月廿四日	前八時三十五分	福岡縣人團此列車收容
中津著	同	後一時七分	
同 發	同	後三時三十分	
柿坂著	同	後四時十分	
同 發	同	後五時	
中津著	同	後七時	夜食（中津）
同 發	同	後七時三十二分	
別府著	同	後九時十分	
滯在	廿五日		大分市視察 官民歡迎會
別府發	廿六日	後一時五十三分	
門司著	同	後五時三十五分	山陽ホテル休憩解散
下關發	同	後九時卅分	
釜山著	廿七日	前八時卅分	朝食（船中）
同 發	同	前十時卅分	晝食（三浪津）
京城著	同	後九時	夜食（大田）

成金の話（一）

渡邊彰

素寒貧の分際で成金の話などをするのは不似合の樣ではあるが、大正の御代に入りてより特に四五年このかた吾人が耳新らしき流行語として聞取るものは成金と稱する詞なり。抑も此の流行語は社會の各方面に亙りて各人の身上に貧富の轉變を生じたることを意味するのみならず現今に於ける社會は殆むど成金の勢力に左右せられつゝある如き有樣なれば成金の話も決して輕々に閑却すべきものではないと思ふ。成金と謂ふ詞は何れより湧出したるかと考ふるに其の根元は將棋の應用と云ふことに歸著する樣である而して將棋の例は將棋の盤面に於て金以外の駒が金と同樣の働を爲し得る資格を相互承認したる場合に駒本來の素性を問はず之を成金と稱するが故に人が社會に活動して其の資力を承認せられ其の成功を讃美すべきものあつた場合には之を成金と稱揚して可なりである、然るに近來成金と云ふ詞は斯の如き意味を以て使用せられず却て賤ふべく嫌ふべき惡味を含ませて使用せられ現に歐洲大戰に開戰以來或る種の事業に從事して僅か富豪の地位を占むる人を指して彼は船成金なり彼は鐵成金なりと稱呼し少しも其人の刻苦努力を稱揚推賞する意味を含ませては使用して居らぬ樣である是れ甚だいはれなき事と思ふ抑何が故に成金といふ詞が斯の如く世人に推賞と歡迎とを受けざるかと其由來を探究すれば二つの原因がある

佐賀セメント

京畿道一手販賣特約仕り候間多少に拘不御用命仰付賜り度此段謹告候也

京城古市町十四番地
特約店　熊野商會
電話一八二番

朝鮮一手販賣店
鈴木商店京城支店

新學期會員募集
今は工業の世の中
成功の門は教育ある技術者の手に開かる
見よ!!!本邦唯一の模範的工業講習錄!!!
講師＝東京高等工業學校教官執筆

壹年卒業
機械講義
最新の學理と實地就業上の注意とを平易に說明し機械工場、鐵道、造船、礦山等に從事せる者に必要の各科目を獨學自修せしむるに最も適當なり
學科 ○工業物理○數學○原動機○發動機○喞筒○機械製作法○電氣工學○機械製圖○齒車○金剛砂砥石○機械工學參考書

壹年卒業
建築講義
大工の徒弟は勿論、請負業者等建築從業者の獨習書として多大の信用を博せり。建築の興義等は容易にわかる家作主、營繕課員等の參考に適切なり
學科 ○建築沿革○日本家屋構造○西洋家屋構造○規矩法○鐵筋コンクリート○建築材料○建築製圖○材料及構造強弱其他

壹年卒業
電氣工學講義
本講習錄に依りて遞信省主任技術者試驗に及第したる者尠からず以て本講義の價値の一班を知るべし第一期第二期に分ち共に一ケ年修業とす
學科 ○電氣機械工學○水力發電所及變電所の設計○火力發電所○借力輸送及配電○電氣鐵道○電氣及磁氣測定○電燈其他

壹年半卒業
應用化學講義
化學工業の發達は刻下の急務にして帝國の盛衰に關する處大なるものあり斯業に志す者は勿論國民教育に從事する人も亦參考に資せらるべし
學科 ○無機化學○有機化學○化學工業○物理○數學○分析化學○化學工業常識○電氣化學○化學工業技械○國民必須其他

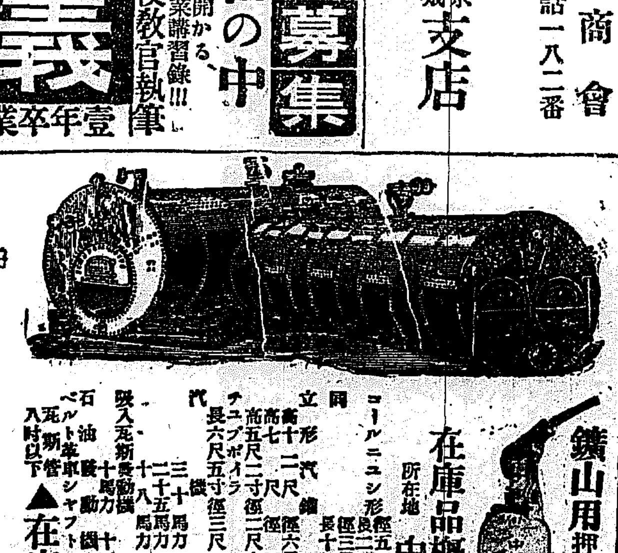
見本進呈
▼東京市小石川表町（振替東京六一一八〇番）
大日本工業學會

農業世界
四月號要目
◆日蓮主義を以て農業に盡せ…佐藤鐵太郎
◉春蠶備育に際して桑園の手入…
◉接木術の實際…
◉世界的大發明海草スガモと纖維採取術…
◉不徹底なる工業肥料自給策…
◉棉花ローマンス…
全國農學評判記…
博文館

▼合服、三ッ揃▼
▲特（新降ボーラヤル、綾綿セル、紺セル）金四拾貳圓也
▲甲（同上ホームスパン）金參拾八圓也
▲乙（同上）金參拾四圓也
◉オバーコート壹割下り
送料鮮內二十四錢外五十錢
○地方御申越次第見本帖と寸法取圖解御送付可申上候
振替京城三〇〇番　京城太平通一丁目
京城日報社代理部

中古品百六十臺…新品五十臺
鑛山用
虎育紙印入角網　朝鮮一手販賣
中根式礦內押揚喞筒製作販賣元
京城南大門通五　販賣
中根商會
京龍山　製作

在庫品概略
所在地　中根工場
コールニュシ形　徑五尺長十二尺
同　徑三尺五寸長十二尺
立形汽罐　高七尺徑二尺三寸
同　高五尺徑二尺七寸
チューブボイラ　長六尺五寸徑三尺一寸
汽機　三十馬力　二十五馬力　十八馬力
吸入瓦斯發動機　十二馬力
石油發動機
ベルト車、シャフト各種
瓦斯管八吋以下
▲在庫品豐富



廣告
日本國債債劵株式會社（資本金參拾萬圓）
本社　東京市麴町區有樂町一丁目三番地
朝鮮支部　京城府南大門通二丁目三十二番地
私共儀今般右會社ト同社ノ公債ノ月賦販賣ヲ契約シ爾來滿十八箇月間ニ當リ今回勸業銀行債劵ヲ各位ニ紹介セラレタル同社ノ獎勵贈與規定ニヨリ今回勸業銀行債劵壹枚宛贈與セラルヽ同社ノ取扱振リ實ニ迅速確實ナル段ヲ兹ニ謝シ併セテ同會社ヲ推薦致候也
大正七年四月四日
龍山　岩瀨孝三郎
京城　井本イシ
京城　楠田繁
京城　今村幸子
京城　河村明
京城　櫻井明

◎英敵軍包圍
敵未曾有の犧牲を拂ふ

巴里來電＝敵がモンヂデエル西方の陣地を擴大せんとして失敗せる最近四十八時間に亘る大激戰後敵の攻擊は今やアミアンの南方十哩乃至二十五哩なるルス、アバール兩河の會合地點に移りつゝあり此地點に於て敵はルス河に沿ひて東方より西方へヌアバール河に沿ひて北方より南方へ接近しつゝあり現軍は敵の西方突出を阻止せんが爲めモンヂデエルに於て敵軍を包圍せり獨軍は五十哩の正面戰線全部に亘りて其前進を阻止され且つ最近二十四時間內に敵は未曾有の犧牲を拂ひたるにも拘はらず獨軍は寸土をも得る能はざりき（倫敦電報）

◎獨軍の軍令書內容

戰場に於て鹵獲せる獨軍々令書には現攻勢に於ける獨逸師團の戰鬪編成を記載しあり是れに據れば一箇師團は二箇聯隊より組織され相並んで前進するものにて各聯隊の第一線は一箇聯隊又は三個大隊より組織され其任務は損害に拘はらず一路其目的地點に向つて前進するにあり主力抵抗戰に關する專業は是れを後續特殊部隊に委するにあり特殊部隊はスチルムストラッペン兵一個中隊、機關砲隊一中隊、工兵半個中隊、液火放射隊一分隊、及び所謂步兵砲と稱する大砲三門より成る砲兵とに依り組織せらる、豫備隊として步兵一個聯隊と英國製裝甲車、五聯より成る一獨立部隊スチルムストラッペン兵數個中隊を備ふ此師團は野砲十二門、重砲六門（內一門は八珊榴彈砲）によりて援護せらると（倫敦電報）

◎敵砲擊地點の轉換

巴里公報によれば敵軍は二十八日以來アルサス及びサンボールを猛烈に砲擊しつゝあり（倫敦電報）

◎黑海航路復活提議

土耳古政府は露國に對し黑海に於ける兩國通商航路の復活を提議せり（倫敦電報）

◎米大使通行阻止

イルクツクよりの報道に據れば最後に急行列車にて浦鹽に向へる米國大使はイルクツクにて通行を阻止されたりとの事なるが近々同大使の爲め安全なる方法を講せらる可と（哈爾賓特電）

◎獨小露間通商開始

獨逸と小露西亞間の通商開始され多量の麵麭は獨軍監視の下にキエフより伯林に輸送せられたり（紐育電報）

◎聯合會議と勞兵會

西伯利亞聯合會議は來る十五日哈爾賓に開かるべし西伯利亞政府は該聯合會議にて定まるべきもイルクツク、チタの勞兵會は該會議を以て資產階級保護と推定し出席者を革命の逆賊と認め捕縛すべしと豫告せり（哈爾賓特電）

◎勞農軍の獨軍攻擊

小露西亞コノトに在る勞農兵軍は同地を退却して獨逸第四軍を攻擊せり更に勞農兵軍はヴオロシユボを撤退の後カルコフ防禦の爲め動員を行ひつゝあり尙アナキエヴオに於ては激烈なる戰鬪盛んに行はれつゝあり（桑港電報）

◎日米信託進捗

▲中野太郎、神野金之助、瀧兵助、渡邊義郎、大[illegible]三輪長太郎、鈴木德兵衛[illegible]三郎、茂木惣兵衛氏等創立準備委員として目下計畫進行中なるが尙大藏次官菅原通敬氏を創立委員[illegible]諸氏の有力者に加へて澁澤男を始め[illegible]有力者の贊成あり近く發表の運び[illegible]陸宗輿、許世英、王克敏氏等の支那[illegible]米國のモルガン[illegible]

◎露强盜支那人虐殺

支那人多數ウスリー方面にて虐殺せらる又强盜團は宣言を發し人頭稅を支那人に課し從はざれば殺害掠奪しつゝあり支那人の避難者續々來哈し慘狀を當地支那官憲に訴へ居れり（哈爾賓特電）

◎梁氏時局解決意見

梁士詒氏は時局解決の捷徑は國會問題の解決に在りとなし條件的に舊國會を恢復すべしと說けり（北京電報）

◎湖南軍追擊命令

參謀部辦公處は湖南軍追擊命令を發せり（北京特電）

◎日支鐵道聯絡會議

日支鐵道聯絡會議は五日午前鐵道院に開會中村副總裁の開會の辭に次ぎ支那側を代表してフォーレー氏の謝辭あり議案附議正午散會（東京特電）

◎歐洲行郵便物
西伯利經由不通

遞信省は西伯利亞經由歐洲行郵便物の取扱不能となれる旨發表せり（東京特電）

◎東京市長就任御裁可

豫て後藤內相より東京市長子爵田尻稻次郎氏就任の件御裁可を請ひ置きたる處五日正午御裁可ありたるに付內相は直ちに井上東京府知事を經て就任認可の辭令を發したり（東京特電）

◎藏相銀行代表者招待

勝田藏相は五日正午官邸に財政經濟委員長目賀田男以下各銀行代表者を招待し午餐會を開き日米銀行設立に就き協議を爲せり（東京特電）

◎大日本米穀十一回大會

大日本米穀第十一回大會は五日午後東京高等商業學校々堂に開會、全國當業者三百餘名出席、仲小路農相、澁澤男等數十名の來賓著席するや志村會頭の開會辭、農相、澁澤男等の祝辭あり終りて會務報告後會長に中村富三郎氏を選擧し與に相諮問案各縣提出案を附議附託す可き委員五十名の選擧を爲せり（東京特電）

◎燐寸工場打擊

米國の輸入制限にて名古屋靜岡方面の燐寸工場は至大の打擊を受け居れり（大阪特電）

◎英國領事一行

オデッサ駐在英國領事外四十四名は五日長春より急行にて朝鮮經由內地へ向へり（奉天特電）

◎烏致院米況

烏致院は忠淸南北道に於ける米穀の集散地として重要の地位を占め昨年中に於ける鮮扱高は米五千六百四十噸大豆二千百噸雜穀類千九百噸總額百四五十萬圓の數移出額に達して居るだけに市況の盛衰は米穀に依つて左右されて居るが昨年來からの米價漸騰に懷の暖まつてゐた米穀業者は二月下旬出兵問題が最高潮に達した當時の暴騰に思はず轉げ込んだ寶の山に同地の經濟界は大分賑つて來た、一時石二十二圓臺を唱へて居た當時內地商人との間に商談纏つて鐵道に托送して置いた米大豆だけでも數十車分に達して居たが西伯利出兵の噂でドンと飛び上つた米價は二十四圓臺大豆も一躍二百丁も跳上つたので一車で千圓からの上鞘となつたから商機を見るに敏なる當業者は內地商人と破約して新高値でドシ〳〵賣放つた爲め七八萬からの利益がころりと浮んだとの事であつた、然るに出兵問題も行惱み米價も聊か行き過ぎた觀があつた爲め再び押戾して昨今では二十一二圓臺となつたが時節柄奧地方面に於ける在米が拂底してゐるため廻着が少くなり市場は茲許閑散の體である

◎公立普通學校費用
負擔金賦課徵收

京城府にては府內公立普通學校維持の費用に充つる爲朝鮮人に對し大正七年度より左記賦課率により公立普通學校費用負擔金を賦課徵收することとなりたり

家屋稅附加　本稅の十分の一

市街地稅附加　本稅の百分の一

右に付京城府係員の談によれば公立普通學校費用負擔金に關する規程は明治四十四年十月二十八日朝鮮總督府令第百二十五號を以て發布せられ爾來全鮮各地に於て之が實施を見るに至り京畿道內に在ても京城府を除く外各府郡悉く施行し來れり而して京城府は今日迄之が施行を見合せ居たるが今や時勢の進運に伴ひ公立普通學校入學志望者は頓に增加し學校の擴張教育の內容改善等の爲め學校の經費は益々膨脹を來したるに依り茲に該規程を實施し各公立普通學校に對し相當の收入を圖り以て朝鮮人子女の教育上遺漏なきを期したり尙此の際府內朝鮮人負擔金徵收の趣旨を解し子女教育の爲なるに思を致し該金納入上遲滯なき樣特に留意せむことを望むと

◎市街地稅納附期

既報の如く京城府管內第一期市街地稅納稅告知書は四月十日附を以て發行納付期日は四月廿五日限りなりしと次に本年度より鮮人納稅者に對しては公立普通學校費用負擔の爲め本稅の百分一を附加徵收する由なれば若し納期日を經過し督促狀を受くるに至れば手數料のみにても四錢を徵收せらるゝ由なれば納

◎膏雨到る
記念植樹の閒も無く

朝鮮總督府始政以來、每年の吉例になつて居る皇祖祭日の第八回記念植樹日は、春空一點の雲翳をも見無い好天氣であつたがその三日目に當る五日は午後から夜にかけて春雨しめやかに降り灑いで音も立てず、如何にも十三道にゆきわたるかに覺ねしめた、この日全道の高山低地に植ゑ付けられた樹木の跡やまことに無數であろ、この膏雨によつて今年の植樹の効果は例年に倍徙することであらう、かくて治山より治水の全きを見ることも一日も早く、新附の同胞の『皇祖の日』に對する觀念が倍々濃厚ならんことを願はざるを得ない

稅義務者は納期を怠らず納付する方相互に於て利益なるべく尙當局者に於ては納付上の便宜を圖り振替貯金納付の計畫なりしも手續未了の爲め第一期諸稅より實施の運びに至らず例年の通り京城府廳及び龍山出張所若くは臨時出張徵收を爲すべく又高陽郡廳構內高陽地方金融組合事務所及び鍾路消防詰所又は京城銀行內府金庫派出所の內便利の場所に納付することを得べしと

◎在鮮在鄕軍人數

朝鮮各地に居住せる帝國在鄕軍人數は二萬一千八百一人なりと

◎下旬鮮鐵收入

滿鐵京城管理局に就き三月下旬の同局線營業收入狀況を聞くに營業哩數一千九十二哩に對し乘車人員二十六萬五千三百四十五人、小手荷物五千八百斤貨物六萬八千四百八十三噸にして之に對する客車收入二十三萬五千二百六十一圓貨車收入二十萬三千九百二十六圓合計四十三萬九千百八十七圓なるが之を前年同期收入に比すれば十萬三百五十八圓の增收にして更に一日一哩平均收入に就て見るに本年度の三十六圓五十六錢を前年同期の二十八圓八十九錢に對比し七圓六十七錢の增收なり

◎英米南米貿易

米國の南米貿易は戰前英國より少[illegible]

一九一七年（九ケ月間）▲南米より輸入　米國へ　三四〇、〇〇〇　英國へ　一六八、〇〇〇

[illegible]業の發展を必要とす今日に於ては南米の銀行業は英國系及び獨逸系のもの勢力を有せるが[illegible]

◎京城醫師會總會

京城醫師會にては六日午後七時より朝鮮ホテルに於いて春季總會を催すべく當日は會員より二三の建議案ありて役員の改選等を爲す筈なるが右終りて古海警務總長、松永道長官、芳賀總督府醫院長、佐藤軍醫部長其他の官民約二十餘名を招待すべし

◎ベリー博士入京

既報ベリー博士の一行は五日夜九時南大門着列車にて入京したるが一行は博士の外同夫人、ベッドレイ博士、ベル幹事、日本組合教會幹事牧野虎次氏の五名にして博士夫妻及び牧野幹事の三名は朝鮮ホテルに投宿したり一行は八日迄滯京九日朝平壤に向ふ筈なるが一行と共に入京の筈なりしブレスデール博士は北京に直行したりと

大阪財界便り

△ゴプラ油事業

時局の好反響を受けて最近植物製油事業は激切り增加するに至り就中ゴプラ製油事業は現今我國に於て横濱魚油を始めとし十三會社あり原料ゴプラの輸入は南洋アシャル群島カロリン群島より三千八百噸乃至四千噸セレベス群島より六千噸計約一萬餘噸の輸入を受け製油事業を營まれつゝあるものなれど資本家ゴプラ製油事業に關しては工場室內溫度八十度以上にあらざれば揮發油使用の上再抽出を行ふも五十五パーセントより六十パーセントを受くるものに反し東洋にて天然の溫度を利用し現今抽出を行ひつゝあるものは八十五パーセントより九十パーセントの搾油を得つゝあるに顧みるに於ては該事業と氣溫の關係の離るゝこと能はざるを知るに足るべし現時の如く獨墺製ゴプラ油の市場に現はれず油價の騰貴し居れる今日は兎も角現時の狀態にて引合ふべきも一朝油價の低落に會する時は製產費の多額を要する本邦に於るゴプラ製油事業は一大頓挫を見るより外なかる可

△過燐酸輸出眞相

昨年來東肥料會社が過燐酸二萬噸の輸出をなすべく運動したるも特許を得ざりしが今回三菱の註文により大阪アルカリ會社製造の過燐酸一萬五千噸を數回輸出特許を與へられしは一見不思議の感無きにしもあらざるが右は南亞ケープタウンに於て過燐酸缺乏し困憊し居れる所より英政府は鐵と交換の意味にて三菱より交涉したる結果茲に一部輸出の特許を與へられたる次第なりと而して相互の禁輸品目の輸出入を圖るに就中斯くの如く交換的にさるるに非ざれば政府に於て之れを許可されざることを知るに足るべし

△手形交換新記錄

大阪　東京外四交換所の三月中手形交換高は枚數百四十四萬六百五十枚金額三十三億二千五百九十一萬圓にて前月に比し枚數十三萬千百卅五枚金額二億七千七百十九萬七千四百五十圓を各增加し一月以降累計枚數四百四萬四千三百十八枚金額九十五億四千百四十萬七千六百八十九圓にて前年同期に比し枚數八十二萬九千六百八十五枚金額三十六億四千六百九十五萬五千四百六十八圓を激增し空前の新記錄を現はしたるが三箇月間九十三億四千萬圓の割合を以て本年一杯の總交換高を推算すれば約三百七十三億圓となり昨年の二百一億に比し八割以上の大激增を來すべく信用取引の發展目覺しきものありと（大阪支局）

人事消息

△白井木披氏（辯護士）五日夜開城へ　△太田喜十治氏（横濱原商會員）同上　△安藤正彦氏（海軍中佐）五日夜入京由城館　△谷口與四郎氏（鑛業家）同上天眞樓へ

百選醫

木村鮮銀理事曰く『日米銀行の設立に就て疑義がありますつて、そりや根本から間違つた說でせう△財政經濟委員の目賀田男を通して日米兩國資本家の握手が、惡い筈が無いぢやありませんか、この握手は固より經濟本位のもので、其間何等の政治的意味も政略もありません△小さい作らこれが他日、日米經濟大提携の楔子と見れば、目前の小利を顧慮して居る場合ではありますまい、對支放資が必ずしも此の銀行の仕事とは限つてゐませんから今後續々對支放資機關でも、爲替銀行でも作るが好いと思ひます』と△英國上院に國民健康保險案といふのが提出せられた△其一條項に被保險婦人が結婚した場合には金二十圓を受くることを得ると規定してあるがナッツフオード卿が之れに反對を唱へ（一）疾病の場合には一週二圓五十錢づつ初年六週間（二）結婚後二年以內に出產したるものは初產十五圓を支出すると修正して終に通過した

◎釜山府の記念植樹

釜山府廳にては三日の神武天皇祭を[illegible]

◎橫領と盜盜

[illegible]和木澤村生れの渡邊與一（二三）は京[illegible]より洋服二着を窃取したること[illegible]鍾路署に逮捕され四月二日京城地方法院にて懲役一年に處分さる[illegible]

婦人畫報　家事整理號　特別增大

◎四月の卷◎

口繪別頁　◇春の水　二頁大美人畫（池田輝方）　◇若草山　三色版（中澤弘光）

寫眞銅版印刷精巧　梨本宮二女王殿下　山階宮大妃殿下　三名家令孃　四名家婚禮　公爵夫人令孃散步　接間の二夫人　男爵金婚式　池のほとり　大使の家庭　五名家の令孃　お祝物の整理　[illegible]

家政の整理（添田博士）　無駄の多い我國の家庭（長井博士）　歐洲の婦人に比べて（山脇博士）　西洋間か日本間か（萬西博士）　便利で衛生的な臺所（田中博士夫人）　私の家の納戸と湯殿（淺田みか子）　私の實行してゐる廢物利用（河口愛子）　安全な家具の藏ひ方（[illegible]）　一家の豫算の立て方（[illegible]）　客間の整理法（櫻田節子）　改良したい家庭の食事（鳩山春子）　家事の手廻しは（嘉悅孝子）　茶器食器の置き所（[illegible]）　燃料の經濟的使ひ方（[illegible]）　私の實行してゐる日常生活法（三角錫子）　洗濯と張物の仕方（井上[illegible]）

德用でさつぱりした着物（[illegible]）　盜賊に入られぬ用心（[illegible]）　火事を豫防するには（[illegible]）　洋服と其附屬品の手入れ（[illegible]）

新聞小說　◇長篇小說　源氏車（渡邊霞亭）　◇短篇小說　花吹雪（上司小劍）

不經濟な今の婦人の着物（[illegible]）　婦人の一通りの衣服と其整理（[illegible]）　家庭必要の藥品と器具（[illegible]）　私共の女中の使ひ方（[illegible]）　大阪の衣裳道樂（[illegible]）　子供の惡癖（[illegible]）　人國記に現れた諸國の女（[illegible]）　美人竹本綾之助（[illegible]）　妻として夫に望みたき事（[illegible]）　肺結核患者注意の食事（[illegible]）　集的家庭教育（[illegible]）　姉妹間（小栗[illegible]）

長篇小說　◇須磨子（菊池幽芳）

定價五拾錢　郵稅[illegible]

東京京橋區疊町　振替四千九百番　東京社

專賣特許既願　山林果樹園藝用害蟲驅除劑　◎シーエス液　松毛蟲に特効あり　說明書御申込次第送呈　製造元 發賣元　京城旭町一丁目　山田商店　電話一〇七八番　振替京城三一九六番　龍山電話四二四番

公示催告

大正七年甲第四七七號

京城府永樂町二丁目二十四番地　申立人　吉田九助

[illegible]

右申立人ヨリ其ノ所持ニ係ル左記證券ニ付公示催告ノ申立アリタルニ因リ[illegible]大正七年十月二十二日午前[illegible]時當院ニ屆出テ且其ノ證券ヲ提出スヘシ若シ其ノ屆出ヲ爲ササルトキハ其ノ證券ノ無効ヲ宣言スヘシ

大正七年四月二日　京城地方法院

商業登記公告

商號新設、商號 大阪ドラッグ商會、營業ノ種類 藥品賣買、營業所 京城府黃金町參丁目[illegible]、商號使用者ノ氏名住所 同所[illegible]

大昌貿易株式會社ハ大正七年[illegible]拾參日各株ニ付金拾貳圓五拾錢宛拂込ヲ結了シ各株ニ付金拾五圓拂込[illegible]

右大正七年參月貳拾七日登記

商號新設、商號 永昌商會、營業ノ種類 穀物賣買、營業所 京城府[illegible]洞四番地、商號使用者ノ氏名住所 京城府鍾路參丁目六百拾八番地 李[illegible]

商號新設、商號 新井藥房、營業ノ種類 賣藥、化學器械、化粧品、ゴム製品販賣、營業所 京城府南大門通貳丁目[illegible]、商號使用者ノ氏名住所 同所 新井虎太郎

東洋生命保險株式會社取締役[illegible]宜三ハ大正七年參月貳拾五日東京府豐多摩郡淀橋町大字[illegible]七百貳拾貳番地ニ移轉シタリ

右大正七年參月參拾日登記

三井物產株式會社取締役武村貞郎、取締役藤村義朗ノ住所ヲ左ノ通リ更正シタリ　大阪府東成郡鶴橋町大字天王寺千八百八番地ノ壹 取締役武村貞郎、東京府豐多摩郡中野町大字[illegible]九百參拾壹番地 取締役藤村義朗

商號新設、商號 金光堂、營業ノ種類 時計貴金屬、寶石、自轉車、雜貨販賣、營業所 京城府[illegible]町貳丁目百六拾貳番地、商號使用者ノ氏名住所 同所 壽多宗一

右大正七年四月一日登記

株式會社京城樂器社取締役[illegible]郎ハ大正七年參月貳拾日住所ヲ京城府永樂町壹丁目拾六番地ニ移轉シタリ

右大正七年四月貳日登記

京城地方法院

一洗布（白上等摺綫）貳千五百貫

右購買ス詳細ハ四月六日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

鑛區鑛石買入

亞鉛鑛、銀鉛鑛、銅鑛、鐵鑛

右の鑛種に對し鑛區買入（許可鑛區先願權）

金鑛石、亞鉛鑛石、銀鉛鑛石、銅鑛石、重石、水鉛

右の鑛石多少に不拘買入

鑛山用諸機械器具及鑛石叺販賣

京城府御成町七番地　正已鑛業所　熊谷忠直　電話長三一二三番

……大阪　片岡直輝、小山健三、永田仁助、山岡順太郎、松方正雄
神戸　服部一三、岡崎藤吉、金子直吉、三上豊夷
京都　內田信也、湯淺竹之助、濱岡光哲、大澤善助、內貴甚三郎、田[illegible]
[illegible]部氏等の賛成を得中野武營、小池國三、荒井泰治、根津嘉一郎、鎌田勝太郎、浦邊襄夫、星野錫、金子元三郎[illegible]會社長[illegible]ナー米國貿易會社[illegible]長モーアス氏等を始め熊希齡、周學熙、張謇、梁士詒、王士偉、曹汝霖[illegible]ありと（東京）
[illegible]提携にして日米兩國の經濟提携並[illegible]に支那放資等時節柄注意を惹きつゝあり

一九一三年　▲東洋へ輸出
一九一六年　米國より　英國より
[illegible]を背景として如上の好成績を示せるは注意す可き所なるが戰後尙此[illegible]たり得る餘地あり（ジャーナルオブコンマース）

[illegible]及び佐藤勸業主任は兩地に出張[illegible]檢分を爲したり

[illegible]代二圓九十錢及び栗四石五斗及び叺代として預かりたる合計五十六圓餘の金を橫領し同家の田中某[illegible]

◆入京したペリー博士一行（前列向つて右より）ペリー夫人、博士、ベル幹事（後列右端）牧野幹事＝五日夜南大門驛にて撮影

三十年前を回想して

▽ペリー博士の車中談

青森から日光迄荷馬で通し不便不愉快な旅行を續けた
＝驚くべき日本人の向上

五日夜入京した米國傳道會社東洋視察員ペリー博士の一行を本社は水原迄出迎へる、一行はペリー博士夫妻ベッドレイ博士ベル幹事それに案內役の日本組合教會幹事牧野虎次氏の五名でペリー博士は三十年前我國に在住同志社病院設立、慈善事業、監獄改良等に盡力して勳三等を贈られ今度久々で來朝した珍客である

◆一行を載せ　た列車が水原に着くと直ぐ一等車を襲ひ牧野幹事からペリー博士に紹介して貰ふ、齡既に古稀を超ゆ口邊の髭は雪のやうに眞白だが博士は却々の元氣である『日本の爲めに多年盡力された博士が久々で日本を訪問され朝鮮にお出でになる事を聞いたので

◆愉快の念に　堪へません衷心から歡迎の意を表します』と云ふと博士は血色の好い艶々した顔に微笑を湛へながら『態々京城から……それは誠に難有ふ』と記者の手を固く握つて『さあお懸けなさい』記者が其與へられた座席に腰を卸すと博士は鳥渡遠い

◆昔の幻影で　も趁ふやうに上目を使つて居たが軈て靜かな調子で三十年前の懐ひ出の緖を繰り擴げる『何しろ三十年になりますよ、目に觸るもの耳に響くもの總てが斯う夢のやうでありますからね何一つとして三十年前の面影を偲ぶ事の出來るものはないが今度日本に來て

◆最も驚いた　のは文物制度の發達より何より日本人其者の進歩向上と云ふ事です、人智も進めば一般の體格も立派になつた一寸路を歩いても昔のやうに口をぽかんと開けて居る者は見當らぬ以前にくらべると脊も大分高くなつたやうである、之は形而下形而上に於ける日本人の

◆進歩發達を　語る何よりの證據で、私は其激變に驚くと同時に日本の爲め誠に欣幸の念に堪へません、私が始めて日本の地を踏んだのは神戸でソレから岡山に行つて病院を建て其後京都に轉住しました、京都では確か明治十五年だつたと思ふ

◆看護婦學校　を起しましたが恐らく之が日本で看護婦と云ふものを養成した始めでしやう其の當時は無論電氣など云ふものはなく交通も至つて不完全でした私は其頃妻と共に北海道の函館まで行つた事がありますが歸り途は俥がない爲め青森から仙臺まで

◆荷馬の背を　借り、仙臺まで來ると漸く俥が一臺見付かつたので之に妻だけを乘せ、私は更に日光迄荷馬で通したやうな始末、實に不便不愉快な旅行を續けたものですが其當時にくらべると今は實に便利になりましたね……』斯う云つて博士は左も感慨に堪へぬと云つたやうに

◆窓外の闇に　眼を外らしたが此時突然車室の一隅から人の心を唆るやうな爽快なハーモニカの音が起る、何者の風流ぞと振へ顧へるとソレは一行中のベル幹事……曲が段々佳境に入つて來ると何時とはなしにペリー博士迄が拍子を取つて合唱する有様、一曲吹奏し終ると牧野幹事隙かさず

◆山高帽を脫　いで一同の前に衝き出し『幾らでも思召を……』と洒落れたので吐つと大笑ひ、イヤ早や賑かな事である。

我社主催　花實併有

＝の視察旅行

北九州の花　工業地の實

最高齡八十六翁をはじめ參加申込續々たり

本社主催九州視察團組織の事一度紙上に發表さるゝや南國の春酣けて百花爛熳の好時節と言ひ工業の中心地たる

◆北九州　には共進會博覽會等催さるゝあり興味津々たる好旅行なるを以て參加希望者頗る多く就中福岡、大分兩縣人の如きは例年陽春の候には歸省して鄕里の春に親しむを例とせる向多きを以て特に兩縣人團を組織せるを便とし其他各種實業家は

◆工業勃興の折柄北九州の視察を緊急事なりとなし居る今日この便宜多き視察團一行に加はるを一擧兩得となし續々申込みあり、朝鮮人側も又內地の風光に憧れ是非一度觀光せばやとの希望を抱き居たる向より進んで參加申込ある中に平安北道雲山邑の郡參事李桂植氏の如きは本年八十六歲の

◆高齡に　あり乍ら曾て本社主催大正博視察團に加はりたる事あり今回も又夫人同伴にて一行に加はる可く朝鮮有數の富豪にして陋屋に蟄居して門外に出でず終日默々として

◆閑日月　を送り居る鐵原の高啓河氏が前年滿洲視察團に加はりし事さへ世人は寧ろ意外とし たるに同氏は今回も又再び參加申込みをなし來れる程にて各方面より如是を一例として意外の熱誠を以て迎へられつゝ有り尙久留米に開かるゝ發明品博覽會には本邦化學工業界の

◆精華を　聚めらるゝ事とて人目を驚かすもの多き中にも名古屋市田中久重氏の發明に係る萬年時計は一度卷けば優に四百日以上を運轉するのみならず日月の運行までも測知し得らるゝを以て開會前既に大好評となり居る由にて其他にも珍奇の發明品あり博多市に開かる可き

◆共進會　も既に準備進捗し出品頗る多き由なれば今回の視察旅行は實に花もあり實もある旅行と言ひ得べく本社は茲にこの各方面よりの多大の期待裡に着々準備を完からしめ居れり

九州視察團に參加申込みをなせる八十六歲の雲山邑の李桂植氏と同夫人

◆義士廼家を觀る
▽―寫實に過ぎた便所の臭ひ
▽―達者な子役『中野芳子』

壽座に開演中の義士廼家の三日目を觀る、女役と男優が半々で、女形に不足がなく配役がいゝせいか、舞臺が引緊つてゐる內にも、十分の餘裕があるので演る役者も樂なら觀客も肩が凝らず、悪びりした氣分が、猶の內外に漾うて、いかにも春の宵の劇らしい。

中途から見たのだが、『思はぬ緣』よりも『へちまの花』の方がいゝと思つた、道具立が惡うの筋が不自然過ぎるのさ粗目を出せば際限がないし、第一開き直つて出ろほどでなし、さて筋を括つてかゝれば無上に面白い芝居である、それに實は例の大阪式、人の腹の中へ手を突込んで擽ぐるやうな、惡しつこいのに惱まされることゝ、內々怖れを抱いて行つた豫想がマンマと外れて呉れた有難さ、お蔭様で持前の憎まれ口奴も、動き出さずに入手際くまで面白く見物した、それでもどこかに大阪流の臭味は拔けず、何んでも彼でも笑はせようとした用意の過ぎたるは及ばざるの諺へ通り、聊か煩さく感じたところが無いでもなく、特に二番目狂言の『思はぬ緣』の大詰の舞臺に辻便所が出ると場內一杯にアシントールを臭はせて見物を弱らせたのなどは鼻持ちならぬ洒落だつた

役々では由良之助の香川松雲、安兵衛の武傳吉、花子の娘加代などよく、その他一人一人にして見ると大した藝はないが舞臺の統一がよく出來てゐる、手馴れてゐるせいかイキが合ふので各役共に活々してゐる、この一座の强味だらう、それから七ツになるといふ中野芳子がズバ拔けて大きな大きな由良之助の濡事を相手にお里を勤めるのも愛嬌で、耳打をする時に梯子を持出してくるのも面白い、この芳子といふ子役延若の弟子さうである名を辱かしめず、すべての動きが本筋で床に連れての振り／＼に卸々いゝ型を見せる、お約束の『お前さん一緒に育てられ三ツ違ひの阿兄さんさ―』からの長丁場を鮮かに演つてのけたのは確かなもの、小さく固まつて終はれば末頼もしいお諸居さんだと思はれた（せいたらう）

◎後藤氏高松に向ふ
モ式にて大阪發

東京大阪間飛行に新記錄をつくれる民間飛行家後藤正雄氏は五日朝八時二十四分モ式に試乘大阪一周著陸好成績なるを以て同十時十九分再び機上の人となり二十六分發練兵場一周の上四十分機影を沒し高松へ向ひたり（大阪特電）

◎喇嘛一行神戸着
歡迎盛んなり

喇嘛僧一行五日朝神戸着驛頭には官民多數の出迎者ありて歡迎盛んなり同十時よりは一同燐寸會社、昌福寺、造船所、築港等を見物し午後六時よりはオリエンタルホテルにて市役所、會議所主催の大晩餐會あり歡迎盛んなり（神戸特電）

◎半北の猛獸（平安北道管內）

平安北道管內にて二月末より三月末に驅除したる猛獸數は狼四頭、豹三頭、熊一頭にして被害の家畜は豚五頭、犬三頭、牛一頭なりしと

◎幼兒火傷

平北龜城郡府內面上端洞金碩云方より三月二十六日午後十一時頃出火同家二棟を全燒して翌午前三時頃鎭火せり損害約三十八圓碩云の長男致善（七）は全身に大火傷を負へり

京龍情死史（十八）

美人殺し

春獎忠壇を彩る血潮の煙
生活難の苦惱に堪へ兼ねて

その頃厚雄は大同生命保險會社の保險勸誘をして居たが外交が餘り得意でない其に知己も後援者もなかつた爲成績は思はしくなく收入と言つてもほんの家賃位のものので

◆一家　を糊して行く事は出來ず、時雄も櫻井町の戶部方に印刷職工として雇はれたがこれとて纏つた收入はなかつた、厚雄は今日も訪問先で門前拂ひされて沁々職業の悲哀を感じながら家に戾ると時雄は慣れぬ仕事に綿の如く疲れて倒れて居た、そうして二人が夕餉を終つた頃ふみは孤影悄然と戾つて來たのである、一家は

沙漠の涯に

棄てられたやうな哀愁と不安に襲はれた、ふみが夫に心中を迫つたのは其夜半の梟の鳴く聲が獎忠壇の暗の中から物寂しく一軒家を訪づれた時であつた『慇懃苦しみを受けるなら死んだ方がましだわ、ね死にませう、死にませう』『……』『妾に取つては

◆世間　の人達はみんな敵だ、みんな迫害者だ、一家三人けが、もう籠城も出來なくなつたわ、此上は死ぬより外に免れる道がない……』ふみは夫の體を確と抱いて聲を振絞つて泣いた『……』『ねーあなた、何故我々は世の敗殘者となつて苦しまねばならないでせう

世間の人達

はみんな生活を樂しんで居るわ、それに妾達は總ての者から棄てられて了つた、職業からも親族からも神からも……』ふみは宵冷めた顔を擧げて夫の顔を見つめたがせき來る悲しさにどつと力なく崩れて枕の下から切ない息を漏らした、夜は更けて寂寥を囁く谷川の水は物悲しく梟の聲はきれ／＼に聞えた、その翌日もふみは厚雄に

◆心中　を迫つた、思ひ詰めた女の心は一徹に生活の苦しさから免れやうと焦りに焦つた厚雄は遂に動かされて打震ふ右手に庖刀を握り眼を瞑つてふみの前頸部に斬りつけ返す手で己が咽喉に突き立てやうとしたが無殘なふみの屍體を見るや急に怖氣づいて我家を逃げ出したそして派出所に訴へ出た

＊　＊　＊　＊　＊

厚雄が警察署での自白は恁であつたが一年間ばかり

囹圄の苦し

みを受けた後證據不充分の廉で不起訴となつた、そして一時世人を驚かした獎忠壇美人殺しは再び迷宮に入つて未だに犯人は捕縛されないが厚雄は痛い胸を抱ねて今は大連邊に漂泊の旅を續けてゐる

朔風に泣いた　お慶さん

浦鹽の名物女（續）

◎過去のロマンス

お慶さん訪問はマンマと失敗に終つたが在留邦人の中には好くお慶さんを知つて居る者がある、それによるとお慶さんは長崎縣南高來郡小濱村の生れ、女の身でありながら海外出稼ぎの味を知らねば嫁に貰ひ手がないと云ふので盛んに醜業婦を出す

◆所謂島原娘　の本場である、美しい事は實際でハッキリした目鼻立ち、一寸松井須磨子のカチューシャと云つたやうな型とやら、今こそ露國切つての金滿家バラコーフ氏夫人と納まつて居るが元はと云へばコレも御多分に洩れぬ醜業婦、暫くはハルピンあたりで露國人や支那人相手に暗い悲しい月日を送つて居たが何しろ

◆天性の美貌　に艶名はシベリヤの荒野に鳴り響き『お慶さん／＼』と其全盛を謳はれるやうになつた、パラコーフ氏に身を委かせたのは其後ニコラエフスクに移つてからである、最初は只單にパ氏の身に過ぎなかつたが此パ氏がお慶さんを愛する事は非常なもので『お慶さんの事なら何んでも好し／＼』と殆んど

◆盲目も同樣　である、ホテルに行くとお慶さんがよく御亭主に甘へて居るのを見受る事がある、美しい上に表情タップリ、あれではパ氏ならずともエツヘツヘ、だとは何んの事やら。お慶さんが本妻に直つたについては更に面白い一場のロマンスがあるが長くなるからそれはヌキとして偖てパ氏はお慶さんを本妻に直すと同時に己の財産の中から

◆十萬留を分　けて故鄕の小濱村に立派な屋敷まで建てゝやつた、パ氏が如何にお慶さんを愛して居るかゞ之でも解る、けれどもパ氏は此位の事で充分だとは勿論思つて居らぬ、何百萬とも知れぬ自分の財產一切の時は殘らずお慶さんに與ると言つて居るさうだ、愈々事實になれば例のモルガンお雪と共に果報者の一對として滿天下を

◆ヤンヤご唸　らせる事であらう『氏無ふして乘る玉の輿』誰か美人を薄命と云ふ、曾てはシベリヤの朔風に泣いた女今度は何と云つて泣くであらう……人の世の運命程判らぬものはない（西村生）

◎發生會春季大會　京城發生會にては十日正午より南山町梅の家に於いて春季大會開會の筈なるが當日素謠の外に仕舞等ある由

解雇廣告
店員　福島勝太郎
右常店員として西大門監獄內常店作業部に勤務せしめあり候處今回都合により解雇致候間此段廣告候也
京城本町二丁目　釘本藤次郎本店

京日案內
普通　一回前金五十錢　番外　一回前金壹圓（但し名稱一回毎に拾錢增し）
▲申込は成るべく前日正午迄に　▲六號以上の活字は特に倍額の事　▲御照會には返信附にあらざれば御回答せず　▲御申込は必ず數字の金額御記入を乞ふ

普通
花卉大廉賣目錄往復端書申込次第呈上　ゼラニウム十種一圓朝顔十種五十錢　致夕顏三種廿錢　廣島千田町百草園

番外
店員數名募集　但本年高等小學校卒業の者夜間通學の便を與ふ希望者直接本人來談あれ　本町一丁目　山岸天祐堂　628

時計職人　武名至急入用　滿洲撫順千金寨元町　石原洋行　627

各種上等硝子陶器類植木鉢　京城太平町二丁目　へ山本商店　616

入札會　每月一六日定期開催　書畫骨董御出品歡迎　京城本町三丁目　電話六七　河合徵古堂　632

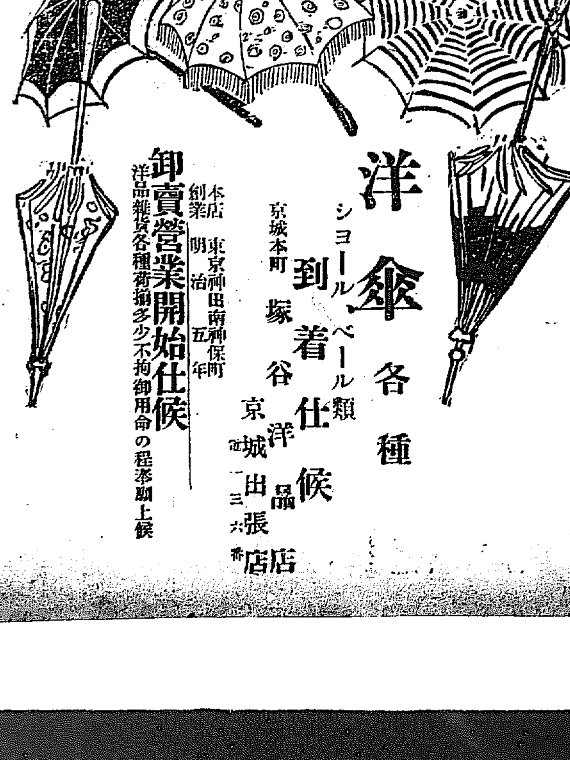
看護婦及見習看護婦　至急採用希望者は本人直接來院あれ　京城旭町一丁目　電二七三六　島崎病院

小供入用　高等小學校卒業二十歲迄の者　鐵商　合資會社　南方商店　京城南大門通二丁目　633

事務員　出納會計に入用志願の者は履歷書携帶本社へ但し市內に確實なる受人を要す　京城新聞社　635

◎鍍物各種分拆　太平町二丁目二六　電長二八三　南側油店隣へ　松永分拆所　592

移轉　本會曾て一時京城商年會館を借受け移轉致し居候處時間等の便利悪しき爲今回長谷川町元書籍研究會館に引移り此際男女會員を大募集す　書籍研究會白



洋傘各種
ショール　ベール類
到着仕候
京城本町　塚谷洋品店
京城出張　電三六番
本店　東京神田南神保町
創業　明治五年
卸賣營業開始仕候
洋品雜貨各種荷揃多少不拘御用命の程希望上候

特別提供要項
市場賣買ノ中心花形タルベキ運命ヲ持テル
上海取引所株提供
內容說明書申込次第進呈ス
提供價格　壹株ニ付拾八圓（プレミアム）
申込單位　拾株以上
申込證據金　壹株ニ付拾圓
送達方法　株券ハ四月廿日第一回拂込金拾貳圓五十錢拂込ヲナシ殘金ハ引換荷爲替ニテ送達ス
福岡市下鰯町取引所仲買人
石黑商店現株部
電話三六九、二二一四
振替口座福岡一七〇五

運動のシーズンは來れり
常に優勝者は船印庭球用具使用者たり
京城大南門通り二丁目
堀井謄寫堂京城出張所
電話長四〇二番
振替口座京城一五五八番

春の子供服!!!
▲御子様方の御仕度は是からで御座います
◎簡單服　金貳圓五十錢以上
◎半ズボン付及ドレス類　金四圓五十錢より金拾五圓まで
▲コドモ靴も色々取揃へて御座います
京城旭町一（電話貳〇貳〇番）
コドモヤ洋裝店
男女速成弟子數名募集

櫻御殿

第百九十三回　大阪殿の家主人

關東浪人（五）

そこで清之丞は聲を勵まして

『お役人樣へ申します、利右衛門は何と申しても、芳野は同罪でござります、初瀬もやはり同類でござります、利右衛門と手前とを水の叉にお梟けなされても、二人の女の殘る間はお家安泰と申されませぬ』と云つた

『それ見い』と役人は利右衛門を叱り付けた、利右衛門は案に相違した

『これさ、考へ違ひをして居るのではないか、手前がお身の許へ〔illegible〕らう』

『清之丞は氣が狂つて居るのぢやござらぬか、よくお取り調べ下されへ』

『いや、利右衛門こそ氣が違つて居るのでないか、一應お取調べを願ひ存ずる』

双方から同じような事を云ふ、されどその心は千萬里の相違であつた

『何さま迂論な申し立てぢや、何方にも深い魂膽があるのであらう、利右衛門兄妹心を協せ、方樣の御消息に目を掛けたものと見ゆる、すれば同罪、備此の上の詮議があらう』と役人は獄卒の方を向いて

事を運んだのは初瀬が助けたいばかりぢやぞ、それに初瀬も同類とは何の愚言、よく鎭めて考へね、手前が當お白洲へ引かれたには、言ふにも言へぬ理があるのぢや』

『その理を手前が知らうか、斯う爲り行くも前世の業ぢや、諦めれ〳〵、諦めて罪に伏せ、初瀬は遠國に病んである氣、それも皆な天罰ぢや』

利右衛門はいよ〳〵思ふ壺の外れたのを悲んだ、自ら進んで身に覺ねぬ濡衣を著た心は、斯うして清之丞に恩を賣つて、初瀬を助けよう意であつた、それが意外にも初瀬と妹とを殺さねばならぬ結果となる、彼は清之丞の面へ痰を吐きたいほど腹が立つた

『利右衛門、何うぢや』

役人はまた怒鳴る

『清之丞を元の囮檻へ押し籠め置け』

獄卒が畏つて座を立たうとすると、清之丞は當座の滿足を歎ぶように

『お役人へ申し上げます、拙者斯くお咎めを蒙つて、重罪に處せられる上からは、命長へる心もない、代々御恩を蒙りながら、兩殿樣へ御苦勞を掛け奉つる段、一言の辯解もない、ついてはその罪亡しに、事實を言上致す、口上に一點の相違ないは神々御存じと思はれ申す、何人が何事を申し述ぶるとも、決してお取り上げ召されな、人の舌には裏もあり、表もござる、此の儀もお分りでござらうの』

利右衛門を後目にかけながら云つた、利右衛門は胸も張り裂くほどに思ふ、清之丞に斯うした言を浴びせられる位なら、進んで名乘り掛ける處ではなかつた、今は鐵の鎖で繋がれて一寸の自由もない、初瀬を助ける道もない、芳野を救ふ手術もない、全く運の盡きであつた、大阪に浪人生活をして居たとき、夜な〳〵辻切をした報いが、今といふ今報つて來た

斯う思ひ至つたとき、背中から水を掛けられるやうにゾツとした

役人は皆な清之丞の申し條を眞實と思ひ、卽ち利右衛門を同罪の囚人として直ちに牢獄へ打ち込むと同時に、芳野もまた鐵格子の中へ入れた

あはれ芳野は徳川家の大奥に長い強い綱をつけて、福島家へ派遣せられた美しい犬であつた、清之丞がそれと知つて、滿身の憎惡を掛けたのが、前には初瀬の逃走となり、後には芳野の牢舍となつた、されど此の時は彼等美しい犬の手に由つて、正則の運命は大牢を咬まれて居た、正則をいかにして滅ぼすべきかの計畫は、家康及びその謀臣の胸中に熟して居た

皮黴科　佐藤醫院
皮膚病　黴毒　淋病　膀胱病　生殖器　機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）　日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元一丁目）　電話一七三一番

◇春燈吟◇　其の十六（大正七、四二十一）

暖や種甘藷の層に馬に切る　瓜靑
整誰著し花鉄江ふ暖かに　同
鍬に反す土たゞや足にかゝる　田打夫
暖かや海の色飽は船室に　同
渦を見て暖に在る石の上　靑史
暖や客去りし後の火桶の火　靑光南
暖かや長き布張る垣の外　笛水
干菜殘る壁の白さや暖かに　韭城
暖かに花壇の雨の乾くかな　水子
暖かに踏る苗圃の藁白し　稔黃子

柳
道端に餅燒いてゐる柳かな　靑史
雨はるゝ風一ツ時柳吹く　迦南
雨に出て嘔きた猫や垂れ柳　白風
檢温器挾みゐて寒し夕柳　瓜靑
乾く泥に下駄高く歩りく芽柳　田打夫
〔illegible〕吹き消す風の柳かな　稔黃子

「潮吟社同會」　大田一七、三、三一　於風骨庵

〔illegible〕

□連翹　—三の廿旮—

〔illegible〕　阿岐良
〔illegible〕　鳥堂
〔illegible〕　默

新刊紹介（到着順）

◎模範中學會の盛況　東京神田三崎町大日本模範中學會發行の模範中學講義錄は〔illegible〕

▲敎へ草（三輪田眞佐子著）〔illegible〕

▲心の華（二二の四）〔illegible〕

▲朝鮮公論（六ノ四）〔illegible〕

▲雄辯（思想問題）〔illegible〕

▲大阪朝鮮貿易商報（二六〇）〔illegible〕

讀者の領分

〔illegible〕

〔illegible〕大阪〔illegible〕株式〔illegible〕

人參　京城本町壹丁目　電話一四八〇　一八七〇番　津村兄弟商會

パインビジネスペン（金ペン付）　定價壹圓九拾五錢　京城太平通二丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

黴毒淋病の人に無代進呈
〔illegible〕
藥化學式應用療法
〔illegible〕
東京藥化學研究所

京城龍山等各地に僞物有御注意

百圓進呈　りん病　ばい毒
帝國醫科大學院
〔illegible〕
分析料百圓進呈
にせ物　東京其他各地ににせドラッグあり
大阪有田
にせ物と奸商
〔illegible〕
（京城）南大門外　大阪ドラッグ商會
黄金町三丁目
大阪三休橋　有田ドラッグ商會

骨つぎ　明治町ふらんす敎會前　荒川仁壽堂　〔illegible〕

本店京城本町二丁目電話九七〔illegible〕
イングレッレー商會
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入〔illegible〕

新荷著　懷中時計
〔illegible〕

御用　牛乳　ニウソ　〔illegible〕
京城蓬萊町四丁目　東亞牧場